

フィリピン造船業界の課題と 造船振興政策に関する調査

2009年3月

社団法人 日本中小型造船工業会
財団法人 日本船舶技術研究協会

はじめに

フィリピンは約 7,200 の島からなる島嶼国家であり、物流の基幹、生活の足として船舶は必要不可欠な交通手段である。また、フィリピンにとって近代的な輸送システムを確立することは、強力な国家の基礎を築くうえで重要かつ重大な要素である。

このような中、フィリピン国政府は 2004 年 3 月に国内海運、造船、船舶修繕、海運政策見直しを促進するための法律第 9295 号を制定した。造船・船舶修繕に関しては、2006 年 12 月にフィリピン国の造船・船舶修繕業振興のための大統領令第 588 号が發布され、それを受けて海事産業庁 (MARINA) を中心とする関係省庁は、2007 年～2010 年の造船・船舶修繕業の包括的開発計画をとりまとめた。計画の中では、フィリピンの造船・修繕業には、人材確保が容易なこと、外航船・漁船を含めて修繕に適した場所が確保できること等がメリットとしてあるが、技術水準及び設備が未熟なこと、造船に必要な鋼材・機器の調達が国内で困難なこと、近隣諸国に比べてコスト、効率、経験の面で劣っていることなど、多くの問題点があることを指摘している。

さらに、本年 6 月に発生したマニラ～セブ間を結ぶ大型フェリー「Princess of Stars」の転覆事故では約 800 名が犠牲となったが、フィリピンでは同様の海難事故が繰り返し起きている。その背景には多くの問題があるが、今回の転覆事故の要因としてフィリピン海難事故調査委員会は、船長及び海運会社の責任に加えて、安全性が確保できていない改造を国も承認したことを挙げている。このような事故の再発防止のためには、フィリピン国の造船技術の底上げが不可欠であることが明らかとなっている。

一方、常石造船、KEPPEL (シンガポール)、HANJIN (韓国) など海外の造船企業がフィリピンに進出しており、更にいくつかの企業がフィリピン進出を検討している中で、フィリピン政府もスービックやミンダナオ島などに造船・関連産業企業を積極的に誘致し、フィリピンの商船隊の近代化と地域経済活性化を図ろうとしている。

このように、フィリピン造船業界は、積極的な振興策を打ち立て、さらに多数の人命が奪われた大惨事を教訓として造船技術を高めようとしている。この転換期にあるフィリピン造船業界の現状と課題、さらには造船振興政策について喫緊に体系的に調査し報告書を作成することは、我が国造船・関連工業事業者にとって内航商船隊の近代化を目指している海洋国家フィリピンにおける直接・間接的な市場開拓につながるだけでなく、フィリピンが望む形での国際貢献に結びつくものである。

本調査では、このような状況の下、フィリピンにおける造船所の設備、建造能力、技術力等を調査し現況を取りまとめるとともに、フィリピンの造船振興政策、造船関係企業の誘致を図っている区域の状況を調査した。本調査により、フィリピン海運業・造船業の発展とともに、海難事故の減少に繋がることができれば幸いである。

最後に、本調査においては、フィリピン運輸通信省海事産業庁に派遣されている JICA 専門家上園政裕氏の協力を得て行われた。この場を借りて感謝する。

ジェットロ・シンガポール・センター船舶部
(社団法人日本中小型造船工業会共同事務所)
ディレクター 田中 信行

目 次

1. フィリピン造船・船舶修繕産業の要旨	1
1-1 産業プロフィール	1
1-2 産業に対する政府の優遇政策	3
1-3 同産業の状況分析	4
2. フィリピン造船業包括的開発計画	13
2-1 序 文	15
2-2 目 的	16
2-3 目 標	16
2-4 戦略、行動企画／方針／プログラム、事業、実施機関、時間的枠組み、 投資要件	17
別添 1 「フィリピン造船・船舶修繕産業の包括的開発計画」詳細	35
別添 2 フィリピン造船所データ	43

1. フィリピン造船・船舶修繕産業の要旨

1-1 産業プロフィール

大統領令第 666 号に基づき、造船・船舶修繕産業（SBSR）は公益企業としては扱われないものの、事業主は海運産業庁（MARINA）に登録し事業認可を得なければいけない。2006 年時点で海運産業庁から営業認可を得ている事業者は、下記表 1 の通り、同庁本局（マニラ首都圏、カビテ州、リサール州、バターン州）および同庁地方局（MRO）に登録される事業者数で、業種と地域別に示される。

表 1：海運産業庁から認可された造船・船舶修繕企業

海運産業庁 事務局	大規模 SBSR ¹	中規模 SBSR ²	小規模 SBSR ³	海上型船 舶修繕 ⁴	造船所	小計
本局	3	9	35	119	14	180
北ルソン地方局	-	-	1	-	5	6
バタングス地方局	1	-	3	5	1	10
レガスピ地方局	-	-	1	-	93	94
セブ地方局	4	3	13	82	13	115
タクロバン地方局	-	-	-	1	1	2
イロイロ地方局	1	-	10	1	12	24
カガヤンデオロ地方局	1	-	-	11	17	29
サンボアング地方局	-	2	5	1	13	21
ダナオ地方局	-	-	2	8	32	42
コタバト地方局	-	1	21	6	6	34
小計	10	15	91	234	207	557

¹ 生産能力 7,500 重量トン以上で、払込済み資本金 1,000 万ペソ以上

² 生産能力 1,500～7,499 重量トンで、払込済み資本金 500 万ペソ以上

³ 生産能力 1,500 重量トン以下で、払込済み資本金 100 万ペソ以上

⁴ 生産能力を持たず、払込済み資本金が 10 万ペソ以上

事業認可を有する造船所のうち、生産能力および資本規模の大きい企業は以下；

ルソン

- スービック・シップヤード・アンド・エンジニアリング社（スービック・カワグ）
- ヘルマ・シップヤード・アンド・エンジニアリング社（バタアン・マリベレス）
- ケッペル・バタングス・シップヤード社（バタングス市）
- ナボタス・インダストリアル社（マニラ首都圏ナボタス）

ビサヤ

- ツネイシ・ヘビー・インダストリーズ（セブ、バランバン）
- ケッペル・セブ・シップヤード（セブ市）
- FBMA マリン社（セブ、バランバン）
- F. F. クルス（イロイロ市）
- ダンドバル・シップヤード（セブ市）

ミンダナオ

- フィリピン・アイロン・コンストラクション・アンド・マリンワークス（カガヤンデオロ市）

雇用状況

2006年に海運産業庁が造船・船舶修繕の事業主に対して実施した調査結果によると、表2の通り、登録事業者のうちで回答があった企業は276社、その従業員総数は1万5,448人だった。

表2：造船・船舶修繕産業の登録事業者の雇用数

回答者/雇用形態	事業種					
	大規模 SBSR ¹	中規模 SBSR ²	小規模 SBSR ³	海上型船 舶修繕 ⁴	造船所	小計
回答者数	10	15	78	127	46	276
登録事業者数	10	15	91	234	207	557
技術スタッフ：						
－正社員	410	120	369	776	114	1,789
－契約社員	32	7	44	109	-	192
技術者／半技術者						
－正社員	1,195	673	2,943	2,784	630	8,225
－契約社員	442	283	954	972	-	
管理者	247	93	410	733	179	2,651
経営者	175	42	260	335	117	1,662
小計	2,501	1,218	4,980	5,709	1,040	929
平均/回答者	250	81	64	45	23	15,448

事業種ごとの雇用平均数で見ると、回答しなかった登録事業者は9,000人以上いることになる。

国内の造船・乾ドック／船舶修繕業界の可能性をフルに実現できれば、こうした雇用数は著しく増加すると期待される。

資本規模

造船・船舶修繕産業の振興では雇用創出のほかに、経済的な投資効果も期待される。2006年に海運産業庁が実施した同調査において、登録事業者215社から得た回答によると、同産業の払込済み資本金は少なくとも6億1,188万ペソ以上となる。

下表3は事業種類ごとの払込済み資本金を示す。

表3：登録事業者の事業種ごとの払込済み資本金

回答者/資本金	事業の種類					
	大規模 SBSR ¹	中規模 SBSR ²	小規模 SBSR ³	海上型 船舶修繕 ⁴	造船所	小計
回答者数	8	12	57	98	40	215
登録事業者数	10	15	91	234	207	557
2,000万ペソ以上	7	2	0	4	1	14
1,000万～1,999万ペソ	1	1	6	3	0	11
500万～999万ペソ	0	9	4	4	2	19
100万～499万ペソ	0	0	47	29	3	79
100,001～990,000万ペソ	0	0	0	41	6	47
50,000～100,000万ペソ	0	0	0	17	3	20
15,000～49,999万ペソ	0	0	0	0	25	25
小計	8	12	57	98	40	215

1-2 産業に対する政府の優遇政策

政府は国の経済成長に対する造船・船舶修繕産業振興の重要性を認知し、以下のような法的措置を向こう数年間、優遇策として採用することを決定している。

- 1) 大統領令第666号（1975年3月5日発布）では、設備・資材の輸入税の免税と、施設や設備の水準改善に資金を提供する「造船開発基金（SDF）」を設立した。同令ではまた、造船・船舶修繕セクターは公益事業ではないと声明することで、40%という外国資本の出資制限を取り払い、外資の参入に門戸を開いた。この外国資本参入については、JGサミット・ホールディングが原告となり、控訴裁判所、民営化委員会（委員長および構成委員）、国有資産民営化トラスト、フィルヤーズ・ホールディングスを相手取って争った裁判で、2000年11月20日最高裁が第124293号の支持判決を下したことで、正当性が証明された。この判決がきっかけとなってケッペル・シンガポールがスービック、バタンガス、セブの3地域に、また日本のツネイシ・シップヤードがセブ・バランバンに現地法人を設立するに至った。

- 2) 大統領令第 1059 号（1976 年 12 月 1 日発布）では、海運産業庁の監督下にある新造船事業に対する政策規定や書類要項が規定され、一方 1221 号（1977 年 10 月 17 日発布）ではフィリピンで登録される外航船は国内にある正規の造船所にて乾ドック／修繕されることが規定された。大統領令第 1059 号は現在、法の精神に従って海運産業庁によって実施されているものの、もう一つの、海運産業庁の登録事業者に乾ドックや修繕を義務付けるという大統領令第 1221 号は、いまだに実現していない。これはフィリピン船籍の外航船の多くが、未だに同法のウェーバー条項に訴え、乾ドック／修繕を中国や日本、シンガポール、その他の国で実施しているため、その根本的な理由は、それら船舶がクロストレードで外国の港間の輸送に使われて（フィリピンに寄港しない）いること、また国内の大きめの造船所が乾ドック／修繕用のスペースを確保できないこと、さらに外航船事業者が、よりコスト安で納期が早い外国の造船所を好んで使用することなどがあげられる。
- 3) 海運産業庁の回状第 95 号（遣い金 s の回状令第 2007-02 号で改正）は、大統領令第 666 号と共和国法第 9295 号の指針に沿って、造船・船舶修繕関連事業の認可・登録に関する諸規定を定めた。
- 4) 行政命令第 226 号および投資優先計画（IPP）では、税制優遇措置再考局（FIRB）により却下された大統領令第 666 号の優遇措置を復活させたもの。特に造船事業者は再度、事業施設の近代化に必要な設備・部品の輸入で免税措置を付与された。さらに造船事業者は一定期間の所得税免除も認められた。
- 5) 2004 年 5 月、共和国法第 9295 号が成立し、内航海運業と造船／船舶修繕産業の振興に向けた取り組みが策定された。同法により、造船・船舶修繕産業は事業施設の近代化を目的とする輸入にかかる付加価値税（VAT）が免除された。さらに造船事業者は、資本財の加速償却も認められた。同産業の振興に向けこの共和国法第 9295 号で最も重要な部分は、第 3 節（n）で「造船所」「船舶修繕事業者」という言葉に新しい解釈を与えたことであり、これによって外国資本による造船所・船舶修繕事業者の完全所有が認められた点である。

1-3 同産業の状況分析

同産業の登録事業者は現在、「海上型修繕」、「小規模造船と内航船修繕に従事する造船所」、「ボートの造船所」が主流となっている。船舶修繕や小型船の造船事業に偏っていることが分かる。

船舶修繕セクター

現在、登録事業者の大半は、船舶修繕業に従事している。内航船舶のほとんどが海外からの中古船舶で老朽化していることから、船舶修繕セクターは非常に収益性の高い分野であることが認められている。ケッペル・シンガポールが現地法人スービック・シッブ

ヤード、ケッペル・バタンガス、ケッペル・セブを設立するなど、海外資本が参入したこともフィリピンの船舶修繕セクターの魅力を示す一つの現れだ。またセブにあるツネイ子会社も、当初は日本で受注した造船事業の海外拠点と位置付けていたが、徐々に大型のフィリピン内航船舶向けの乾ドック/船舶修繕事業も手掛けるようになってきている。

同産業の開発計画作成という見地から、船舶修繕業でまだ開拓の余地があるのは、外航海運向けのサービスであり、フィリピンをアジア地域の船舶修繕ハブとして促進していく点である。フィリピンは国際的な外航船が寄港しやすい地理条件にあるため、この政策を推進することで雇用と外貨収入の増加を期待できる。またフィリピンで登録される外航船は 200 隻以上もあり、国内の正規の造船所で乾ドック/修復が必要となっている事実もこの政策を後押ししている。ただ現状ではフィリピン登録を含む外航船舶は、中国や日本、シンガポールもしくはアジアの諸外国で修繕需要を満たすケースが多い。今後は以下の現状課題を改善していく必要がある：(1) 現在、造船所は主に大型の内航船向けサービスがほとんどあり、外航船に対応できる造船所が少ない。(2) 国内の造船所で実施した場合、乾ドック/船舶修繕の時間・費用が諸外国よりかかる（例：フィリピン国内で 5,000 重量トン級の貨物船乾ドック/修繕が 50 万米ドルで約 1 ヶ月かかるところ、中国では 24 万米ドル、2 週間で終了できる）。

本開発計画の作成にあたっては、以上のような船舶修繕セクターの現状が組み込まれた。

造船セクター

下表 4 のとおり、国内では過去 4 年間で造船事業が 51 件しかなく、このうち 23 件が輸出向けの発注だった。国内で実施された内航船の造船事業は、小規模船舶の需要に限られたことも指摘しておきたい。同期間で海外から輸入された中古船舶の数は国内で造船された数を上回った。まずは国内の受注に集中して造船事業を増やしていくことで今後の将来性が見込まれる。

表 4：海運産業庁が認可した国内の造船事業

年度/詳細	船舶の種類									
	タンカーバ ージ/石油 輸送船	客 船	荷 船	モーター ボート/ ピトゥヤ	漁船/ ピトゥヤ	ヨット/ 巡視船	貨物船/ ばら積み 貨物船 (輸出用)	RORO カタマラン (輸出用)	敷設船 (輸出用)	合 計
<u>2006年</u>										
-隻数	2	1				1				4
-サイズ	1,500 DWT/ 22,000 バレル	-	-	-	-	-	-	-	-	
-費用	8,900 万ペソ	-				308.9 万ペソ				1億700 万ペソ
-造船所	800 万ペソ RWR マリン/ ヘレラシッ プヤード	SCC ノーティカ				ボート				
<u>2005年</u>										
-隻数	-	1	-	-	1	2	-	-	-	4
-サイズ		43 フィート			-	29 フィート				
-費用		395 万ペソ			P 2.64 M	33 フィート				128万 5,000ペソ
-造船所		ボート造船			イルマシッ プヤード	348万ペソ /278万ペソ ボート造船				
<u>2004年</u>										
-隻数	-	1		1		3	6/9	1	1	22
-サイズ		43 フィート		-		35 フィート	-/各 52,300 重量トン	6,400万	45 トン	
-費用		395万ペソ		153万 5,000ペソ		526.3万ペ ソ/1,780万 ペソ/401.5 万ペソ	1億2,102 万米ドル 6,865万米 ドル	1,480万 ドル	220万 ドル	325.6万 ドル
-造船所		ボート 製作所		セントアン ソニー		ボート 製作所/ メトロシッ プヤードハ ンディキャ ップ	常石	FBMA	ケッペル バタンガス	2億666万 ドル
<u>2003年</u>										
-隻数	-	2	5	3/2	3	-	6			21
-サイズ		2,000万 ペソ	1,900万 ペソ	-	-		各 52,300 重量トン			
-費用		1,025万 ペソ	7,288万 ペソ	274.4万 ペソ/ 308万ペソ	232万ペソ (2隻)		8,917万 2,000ドル			912万 7,000ドル
-造船所		ダンシコマ リン	メトロ/ RWR ハイロン	フラベル/ マンラパス /GAD	フラベル/イ ルマ/アクア パワー		常石			8,917万 2,000ドル

こうした最近の状況を考慮して、国内における内航船舶の造船需要がこれから活性化すると期待されている。例えば大統領自ら、RORO 船航路の確立で島と島をつなぐ「強力国家海上ハイウェイ」(SRNH) 構想を立案するなど内航海運産業の振興にむけて積極的なアドボカシーを行っている。下表 5 のとおりこの SRNH 構想で策定された 39 の港 (22 航路) のうち、実際に RORO 船が既に配船された航路は 7 つに留まっている。

表 5：強力国家海上ハイウェイで策定された RORO 船事業

地域	港数	路線数	RORO 船の配船数	RORO 船の未配船数
西部	8	4	4	-
中部	11	8	2	6
東部	4	2	1	1
アロヨ大統領が 06 年の施政方針演説で述べた港/路線	16	8	-	8
合計	39	22	7	15

RORO 船が未だに配船されていない背景には、特に日本の中古市場で RORO 船の供給が乏しいことがある。中古船舶があつたとしても、価格が高額なため、代替策として国内で新しい RORO 船を製作 (500 重量トン級で約 250 万米ドル) するチャンスが増えている。さらに日本や諸外国では二重船体タンカーの受注予約が 2010 年まで埋まっていることを考えれば、フィリピンの造船産業にとって国内からの RORO 船需要が高まるチャンスである。

またフィリピンの造船産業にとってもう一つのチャンスは、内航海運業からの二重船体オイルタンカーとオイル船の需要である。フィリピン政府が批准した国際海事機関 (IMO) の海洋汚染条約 (マルポール条約) に基づき、さらにフィリピン史上最悪の重油流出事故となったソーラー1 号の沈没事故をきっかけに発令された大統領命令により、国内で操業する全ての油タンカー/油バージは 2008 年 4 月までに二重船体構造に強化することが義務付けられた。新規則の影響を受ける現在の国内の油タンカー/バージの統計を見ると、下表 6 のとおり、国内の造船所が期待できる油タンカー/バージの造船需要は約 16 隻となると予測。

表 6 : 国内の油タンカー/油バージの隻数

事業の種類	一重船体 タンカー数	重量トン (DWT)	二重船体への改造の必要数	
			隻 数	平均重量トン (DWT)
コースタル	5	16,344	5	3,300
クロスベイ	12	15,452	6	2,000
バンカーリング	9	5,835	7	500
合 計	26	37,621	16	5,800

大きく言えば、国内造船産業の今後の発展は、国内の内航海運事業の合理化にかかっているといえる。共和国法第 9295 号では「船舶退役プログラム」(MVRP)を規定し、海運産業庁が規定する一定年数に達した内航船舶は、船級されない限り、自動的に海運産業庁の登録から除籍されることになった。また、国内の海運サービスを維持するため、法令により退役となった船舶は、新しい船舶に置き換えらなければいけない。同プログラムによって間違いなく国内造船所の受注が活性化されるが、下表 7 のとおり、2003 年の水準で経過年数 30 年以上の船舶が少なくとも 384 隻にも上ることから、これが直接国内の造船需要につながっていくと期待される。

表 7 : 共和国法 9295 号の船舶退役プログラムで予定される退役船

事業サービスの種類	退役予定の船舶隻数 (経過年数 31 年以上の船舶)	平均重量トン (GRT)
客 船	13	43.92
貨 客 両 用 船	80	334.35
貨 物 船	114	407.08
コ ン テ ナ	6	3,715.90
液体貨物/はしけ運搬	1	285.42
荷 船	22	648.94
タ ン カ ー	15	691.81
曳 航 船 / 救 助 船	101	77.11
遊 覧 船	5	55.57
ピ ロ テ ー ジ	5	108.31
合 計	362	6,368.41

出典：海運産業庁 2003 年国内操業船舶統計

ただ、上述のような発展のチャンスを具体化するには、さらにいくつかの問題点と課題に取り組まなくてはならない。まず一つに、新船舶の価格が中古船より高価なため、海運事業者は中古船舶を好む傾向にあり、これが国産船舶の需要の低さにつながっていること。また国内の海運事業者が新船を取得しようとしたとしても、フィリピンの造船所で建造されたものではなく、中国、日本、韓国など外国産の新船舶を好むという問題にも取り組んでいく必要がある。外国産が好まれるのは、国内産船舶が外国産船舶に比べて費用が高く、納期も遅いことが主因である。

さらに国内の造船産業振興に向けて重要な点は、現在の造船能力である。2007年第1位四半期に海運産業庁が認可事業者を対象に実施した調査では、5つの査定項目に従って、各事業者の造船能力および修繕能力を査定した。下表8は同調査の結果である。

表8：登録事業者の生産能力査定

区 分	500 GT 以下	500～ 1,000 GT	1,000～ 5,000 GT	5,000～ 10,000 GT	10,000 GT 以上	回答者 総数
査定項目	生産能力の回答者数（項目ごとの比率）					
船舶設計修繕能力	28 (71.8%)	7 (17.9%)	2 (5.1%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	39
造船所設備能力	29 (72.5%)	7 (17.5%)	3 (7.5%)	1 (2.5%)	-	40
技術能力	29 (72.5%)	7 (17.5%)	2 (5%)	1 (2.5%)	1 (2.5%)	40
資本の有効性	23 (65.7%)	9 (25.7%)	3 (8.6%)	-	-	35
進水施設の有効性	29 (76.3%)	6 (15.8%)	2 (5.3%)	1 (2.6%)	-	38
船舶修繕/乾ドック能力	23 (65.7%)	5 (14.3%)	5 (14.3%)	1 (2.8%)	1 (2.8%)	35
平均回答	71.76%	18.9%	6.3%	2.55%	2.55%	-

回答者数は実際の認可造船所数の3分の1にとどまったものの、この結果から国内造船産業の生産能力を図ることができるだろう。調査結果からも分かるように、500重量トン以下の造船や船舶修繕を手がけることができる造船所は、登録事業者全体の65～76%しかない。さらにこれらの造船所の多くが500～100重量トン（18.9%）から1,000～5,000重量トン級を造船できる能力があり、乾ドックでは5,000重量トン（14%）級船舶までが可能となっている。今後、国内造船を増大していくための段階的な輸入制限を実施していくが、この統計結果を利用して輸入規制対象となる船舶のサイズと種類を決定していくことができる。

SWOT分析

造船・船舶修繕業界の包括的開発計画の作成にあたり、改善すべき分野を決定し、解決にむけた基礎的な枠組みを策定するため、強み（S）、弱み（W）、機会（O）、脅威（T）を総合して戦略を練る SWOT 分析を実施した。

強み

同産業において今後多いに発展させえる長所は、フィリピンがアジア太平洋地域の戦略的な位置にあることであり、このメリットを巧みに利用した外航海運事業へのサービスである。この優位な地理条件にあって、フィリピンは船舶修繕や乾ドックの域内拠点として成長できる潜在性がある。この潜在的な長所を実現するには、国内の造船所が外航船の修繕/乾ドックサービスにおいて諸外国との競争力を養う必要がある。

さらに同産業の具体的な長所は、造船・船舶修繕業に従事できる安価で優秀な技術労働者が容易に確保できる点である。基本的に多くのフィリピン人労働者が、溶接、配管、成形といった造船事業に活かせる技術を有しており、専門職/エンジニア職も豊富だ。総合的な技術者養成プログラムを実施すれば技術労働者の規模を容易に拡大でき、国内需要にとどまらず海外の造船発注にも対応できるようになることから、労働力が同産業の基幹的な資源となるだろう。

また現在、同産業で有利なのは、造船事業者には共和国法第 9295 号および投資優先計画（IPP）で定められた輸入免税、所得税免税、加速減却などの税制優遇措置が適用される点であり、これによって国内外からの投資が促進されるとともに、諸外国の競合他社に対して競争性を増していくことである。

最後に、共和国法第 9295 号で規定されるとおり、海運産業庁が新船・中古船とも海外からの輸入を段階的に規制していくことで同産業はかなりの利益を受けると予想される。この政策によって国内海運事業者は国内の造船所からの船舶取得を強制されるからである。

弱さ

開発計画の作成にあたっては、今後、以下のような業界の弱点に対応していかなければならない。

産業発展の主な障害であり今後解決されるべき課題は、造船・船舶修繕事業のコスト、能率性、質、経験の点で諸外国のほうが相変わらず優勢であることだ。国内の造船事業が少ないのは主にこれが原因であり、あってもたいていは小規模船舶の造船にとどまっている。また造船所が内航船の修繕や乾ドックに偏っており、良好な地理的条件にありながら、外航船舶向けサービスを十分に実施できていない。中国など諸外国のサービスと比べて当地の造船・船舶修繕はコストが高く、納期が遅いという事実があり、同産業のこうした競争力の欠如は、こうした弱点の総合的な結果となっている。諸外国の造船産業に対する競争力を増進するには、当地の産業が抱える弱点や脅威にむかって取り組ん

でいかななくてはいけない。

従って造船事業の効率を引き上げるためのより具体的な行動計画を実施し、それによって造船・船舶修繕事業のコストや期間を削減していくことが重要となる。この点において鍵となる要素は、産業開発の第一段階として国内の造船所の事業振興を促進し、より大きな事業規模を引き受けることで経験と実績、自信を獲得していくことだろう。

必然的にこの弱点というのは、国内で大型船舶の建造や乾ドック/修繕ができる造船所がわずか 10 施設しかないことである。またそれに加え、これら規模の大きい造船所の約 50%は、海外本社からの受注に対応している。こうした状況では、国内の造船所が事業能力を引き上げていかない限り、造船・船舶修繕の台頭しつつある需要に応える生産能力が伸び悩むことになる。

また上記の状況に加えて、国内造船所の既存施設や技術水準の開発や能率化が遅れているという事実もある。この点でも今後は水準のアップグレードに取り組んでいく必要がある。

さらに造船/船舶修繕事業に必要な不可欠な鋼板および関連する設備/部品は国内で調達できないという問題点がある。これらの必要資材の輸入にあたっては、免税措置の適用を受けるものの、資材が利用可能となるまでの時間がかかり、完成までにかかるコストや時間が増大するなど、輸入への依存は造船事業の効率性を著しく減退させている。このため、国内で低価格の資材を調達できるようにすることで、造船/船舶修繕の需要増の経済的な相乗効果を最大限に引き上げ、産業振興を促進することにつながるだろう。

機会

同産業の機会については、新造船需要の高まりが期待されることについて先に触れた。とりわけ大統領の掲げる SRNH 構想に基づき RORO 船だけで約 15 隻、国内油タンカー/バージは 2008 年 4 月までに二重船体を導入義務が課され、これで約 16 隻の需要が見込まれ、もちろん一重船体/二重底タンカーから二重船体に変換中の 9 隻については言うまでもない。さらに共和国法第 9295 号で使用年数 30 年以上の国内船舶で船級されていないものは退役船舶となることから、これにより国内で約 300 席の造船需要が生まれる見込みである。

また、こうした国内産船舶の追加や入れ替えという事業チャンスをさらに押し上げているのが、中古船市場では二重船体タンカーがなく、RORO 船も不足ぎみという事実であり、中古市場であったとしても価格面から国内産の新しい RORO 船を購入したほうが有利という状況も生まれている。特に近隣諸国の造船所は 2010~2012 年まで受注予約が埋まっていることから、国内の造船所にとっては、内航業界で伸びている新船需要を獲得する絶好のチャンスである。

脅威

また本開発計画では2つの基本的脅威が指摘されている。一つ目は国内の船舶事業者が安価な中古船舶をより好み、これが国内の低い造船需要につながっていること。現在は中古市場の船数が減少しているものの、政府と造船事業者は今後も新船市場の底上げを行うため、国内造船産業の活性化と造船コスト抑制に向けて努力していくことが不可欠であろう。同時に、こうした努力は中国、韓国、日本など近隣諸国が有する優位性、という脅威に対応していくことにもなる。フィリピン造船所は今後、諸外国との競争と比較してコストと質の両面を強化して行かなければならない。

さらに同産業の主要な脅威となっているのは、国内造船だけでなく海外の造船産業が発展した場合、技術労働者や技術専門家などの国内労働力が不足する可能性である。そのような事態を回避するため、本開発計画では今後の需要増に対応できる造船産業の労働力を確保するための取り組みを策定する。

前述の4つの検討要素を図式1に要約する。

図式1：造船・船舶修繕産業のSWOT分析

強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)	機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
造船点/船舶修繕/解体産業のための廉価で優秀な労働力	造船/修繕コスト、能率、品質、経験の競争力が諸外国と比べて低い	SRNH 構想で RORO 船の配船需要 (30+ RORO 船)	安価な中古船の存在が国内の造船需要の低迷をもたらしている。
漁船を含む外航船向けの乾ドック/修繕に適した有利な地理条件	大半の国内造船所で技術・設備の近代化が遅れている	退役船舶プログラム (共和国法第 9295 号で規定) ; - 老朽化・未船級の船舶を退役させる ; - 退役した船舶に新船を入れ替え ; - 老船の分類	日本、韓国、マレーシア、インドネシアが有する造船/乾ドック/修繕の優位な競争力
共和国法 9295 号と投資優先計画で定める同産業の免税/所得税免除	大型船舶の造船/修繕に対応できる造船所が少ない	国内タンカーに二重船体様式を義務化し一重船体を段階的に廃止	国内 (また海外) で造船需要が急増した場合、労働力/技術者が不足する危険性
船舶輸入に対する段階的な法的規制	造船事業向けの融資策が不足	近隣諸国の造船予約が 2010 年まで満杯	
	造船の基礎原料 (例 : 鋼材、その他設備/部品) が国内で調達できない		

2. フィリピン造船業包括的開発計画

2006年12月8日、グロリア・マカパガル・アロヨ大統領は、「**フィリピン造船・船舶修繕産業の強化および同産業の発展促進に向けた取組みの策定**」と題する行政命令第588号に署名した。同行政命令第4節に従って、国の造船・船舶修繕産業の包括的開発計画を策定する専門委員会が設置された。専門委員会に配属されたのは以下の政府機関の代表者；

国家経済開発庁（NEDA）
財務省（DOF）
司法省（DOJ）
貿易産業省（DTI）
労働雇用省（DOLE）
公共事業道路（DPWH）
環境天然資源省（DENR）
フィリピン経済区庁（PEZA）
スービック湾都市開発庁（SBMA）
フィリピン沿岸警備隊（PCG）

委員長には海運産業庁（MARINA）の長官が着任した。

同委員会の委員となる各政府機関の代表者が2007年1月11日に集まり、創立会議を開催した。委員は同計画の草案作成を手がける技術作業部会を発足させることで合意。また、国家開発公社（NDC）のマリタイム・リーシング社（NMLC）が同産業で重要な役割を持つことから、同社を事業に参画させることも合意した。専門委員会および技術作業部会の委員リストは、本書に付属書類として添付する。

専門委員会および技術作業部会はそれぞれ、数回のミーティングを実施したが、海運産業庁本部が入居するPPLビルが火災被害に遭い、書類や記録が破損したため、それらの再構築に一時、作業を中止せざるをえなくなった。このため、「フィリピン造船・船舶修繕産業の包括的開発計画」が最終的に専門委員会に採択されたのが2007年10月16日となり、その後アロヨ大統領の承認を得るため提出された。

要旨

行政命令第588号に規定されるこの「**フィリピン造船・船舶修繕産業の包括的開発計画**」は、造船・船舶修繕産業が今後の課題と発展性を合わせて内包している中で、市場不振から脱して産業振興に導いていくことに主眼を置いている。同計画は2010年までという無理のない時間設定を採用しているが、同産業の自主期限内で実施する包括的な取り組みを否定するものではない。

本開発計画の策定前にまず必要となったのが、造船・船舶修繕産業の現状を確認することである。島礁国のフィリピンにおいて、海運産業は人と物／原料の移動に重要な役割を果たすことから、造船・船舶修繕産業は国の経済発展や国民統合を下支えする産業である。さらにフィリピンはアジア太平洋地域の戦略的ポイントに位置することから、外国貿易や国際航路へのサービス拠点として同産業の今後の発展性が多いに期待されることである。

しかしながら、現在、海運・船舶修繕産業が置かれている状況では、この発展性をフルに現実のものとするにはまだ長い道のりが必要である。事業認可を持つ 557 社のうち、116 社が造船所を有する造船/船舶修繕事業者で、234 社が造船所を持たない海上型船舶修繕事業者、207 社がボートの製作事業者である。このデータからも分かるように 同産業の大部分は船舶修繕とモーター船の造船事業が主流である。116 社の造船所のうち、大型船舶を造船・船舶修繕できる施設を有するはわずか 10 社のみ、中型船舶に対応できるのが 15 社のみ、残りは小型船舶向けである。このように造船・船舶修繕産業は現在、主に国内船舶の修繕サービスに依存しており、造船のほうもモーター船のような小型船舶の製作が散発的にあるのみで、海外市場向けの造船に対応できるのは、ツネイシ・ヘビー・インダストリー社とFBMAマリン社のみである。このため、同産業の発展を促進させるには、大型船舶の生産能力を引き上げられるか、外洋航行船の乾ドックや修繕サービスを実施できるかにかかっていると見える。政府は、特に雇用創出や資産/資本増強などの点について同産業が経済発展に貢献する有益性を認識している。このため 1975 年の大統領令第 666 号から 2004 年の共和国法第 9295 号まで、数十年の間に同産業の振興を促進するための法的措置が徐々に整備されてきた。これら法律は同産業に対する優遇措置を規定するだけでなく、造船や船舶修繕の事業設立で外国資本の参加を認めるなど自由化を進めるものであった。さらに開発計画の方向性は同産業で実施された SWOT 分析の結果に基づいた。つまり、作成された開発計画は同産業が有する強み（優秀な労働力、同国の戦略的な位置条件、政府の優遇措置、政治的主導権）をバググに、そして弱み（低い造船能力、諸外国の造船事業に対する乏しい競争力、魅力的な資金調達の実績が乏しい、造船／船舶修繕のための基本原料が供給不足）を補完するという内容で展開した。また開発計画は、新しく伸びてきた事業チャンス（国内 RORO 船や二重船体タンカー、2010 年までの外国の造船受注など）を巧みに利用しながら、同産業の直面するリスク（輸入中古船へのし好、競争力のある諸外国の造船産業、優秀な技術者の枯渇不安）を軽減するものとなった。

前述の要素を考慮した結果、**2007～2010 年の包括的開発計画の最終目標は「フィリピン造船・船舶修繕産業の強化および同産業の発展促進に向けた取り組みの策定」**に設定された。

本開発計画ではさらに以下の各目標を設定した：

- 1) 内航船の造船や外航船の乾ドック/修繕の需要増に対応できる国内の造船所を増やすこと；
- 2) 国産の内航船、また国内で乾ドック/修繕される外航船を増やすこと；
- 3) 造船・船舶修繕事業に即戦力となる潜在的な技術労働力の確保

こうした国内の造船所能力（供給）の引き上げや、大型船舶の国内生産および外航船舶の国内乾ドック（需要）の引き上げといった二次的な目標を達成するため、以下のような戦略が取られる予定：優遇措置規定、産業向け低利融資・保障；外資との合弁または資本提携の促進；退役船舶の法令規定や船舶の輸入制限といった国内造船需要を活性化させる政策措置/政治的イニシアチブ/プロジェクトの導入；造船工程のモジュール化・標準設計の採用・造船関連資材の大量購入による国内造船産業の効率改善。これらに付随する実施機関の活動内容については、添付の行動計画/事業/プログラムの中で詳しく記載する。

同産業の労働力を確保するという目的に対し、「戦略計画」の中で、造船技術者養成プログラムや労働者確保の取り組みに対する補助/優遇措置などを定めている。実施機関が手がける活動内容は、本計画および添付書類の「行動計画」/「事業」/「プログラム」を構成する。

前述のような「フィリピン造船・船舶修繕産業の包括的開発計画」の各要素をもって、同産業は 2010 年までに強化され、翌年以降のさらなる成長と発展の基盤ができあがると見込まれている。

2-1 序文：

この包括的開発計画では、造船・船舶修繕産業がフィリピンの経済成長に寄与する実際的かつ潜在的な可能性があることが考慮されている。

事実、造船・船舶修繕という産業は、島国フィリピンにおいて貨物・製品・人々の輸送といった生命線である海上運送産業に補佐的な役割を果たしている。これら内航海運の安全と効率性を支えているのが、船舶の補修や乾ドックで耐航整備を行う船舶修繕産業である。国内船舶のほとんどが老朽化した中古船であることを考えると、安全基準を満たすためのメンテナンスは基本的に国内の船舶修繕産業に大きく依存している。一方、国内では海運近代化の取り組みと平行して、新造船の需要が高まっており、国内の造船産業に今後依存するところが大きくなるであろう。

さらに海運・船舶修繕は大規模の投資と労働力を必要とする産業である。このため、同産業の振興助成は、政府の投資促進政策や雇用創出にも大きく貢献することになる。現在

また今後の需要に対応していく中で、フィリピンは地理的に見ても戦略的な位置にあることから、船舶修繕産業が外航船への修復拠点となり、ドル獲得産業に成長していく将来性が見込める。一方、国内の造船所で国内向けの新造船の需要に対応できれば、外国産や中古船を輸入せず、国内のドル保有や技術労働者の雇用創出にもつながっていく。

前述のように造船・船舶修繕産業の潜在的な役割が期待されるものの、一方でこうした強みや事業チャンスを否定し、潜在力の具現化を阻むともいえる弱み・脅威が存在する。まず挙げられるのが、海外（日本、韓国、シンガポール、中国）の造船産業と比較して、国内外からの新造船や船舶修繕の需要に応える競争力が弱いこと。現在のところ、こうした諸外国の造船・船舶修繕はコスト効率が高く、納品期間や技術的に見ても圧倒的に有利である。このためライバルとなる諸外国と比べて造船・船舶修繕のコストを削減し、事業効率を引き上げていくことが最初の課題となる。

このように、同産業が経済成長に与える有利性、それと同時に現在直面している問題や課題点も含めて作成された枠組みがこの包括的開発計画である。従って、策定された本開発計画は（a）コスト効率引き上げに向けた造船能力増強と近代化；（b）フィリピン国内造船所への発注増大（c）優秀な造船技術労働者の継続的な供給を確保；などを中心に展開される。

2-2 目的：

フィリピン造船・船舶修繕産業の強化および同産業の発展促進に向けた取り組みを策定する。

同開発計画は2007年から2010年までの期限であるため、同産業の強化目標を無理なく想定でき、産業開発の加速化に向けた土台を構築することが可能だ。

2-3 目標：

1. 内航船の造船および外航船の修復/乾ドックといった新たな需要増に対応できる競争力のある国内の造船所を増やす
2. 国内産の船舶数を増やし、また国内で修復/乾ドックされる外航船数を増やす
3. 造船/船舶修繕事業に従事できる技術労働力を確保する

2010年までの産業教科という同計画の目的は、前述の3つの目標を中核に進められる。これにより、2010年までに造船所の能力水準を改善し、今後期待される造船/船舶修繕事業の需要増に対応していくことができる見通しだ。また施設能力の改善により同年までにフィリピン産船舶、また国内で修繕される船舶が増える見込みだ。これらの補完的な目的を達成することは、造船/船舶修繕産業の需要と供給を同時に対応していくために必要な部分である。国内の造船所の近代化を図ったとしても、造船所に注文が来なければ意味がないのである。逆にフィリピンの造船や船舶修復事業を普及していても、対

応能力のある国内の造船所が少なければ、本来の狙いを達成することはない。そして、国内の造船・船舶修繕活動の需要と供給を引き上げていく方策と平行して、優良な専門家や技術労働者が多い当地の優位性を強化し、最初は国内の需要に、最終的には海外市場の需要に対応していくことが重要である。

2-4 戦略、行動企画/方針/プログラム、事業、実施機関、時間的枠組み、投資要件

同開発計画が定める目標を達成するため、各担当機関により事業目標や投資要件が設定された行動戦略が採用された。

第1の目標に向けて：

内航船の造船および外航船の修復/乾ドックといった新たな需要に対応できる競争力のある国内造船所を増やすため、3つの基礎戦略が策定された。

戦略1：造船所や設備/施設、生産能力、競争力を引き上げるための事業助成や優遇措置を提供する

国内では現在、規模の大きい造船事業者が少ないという事実を踏まえると、業界全体でも大型船舶を含む造船/修繕できる能力がかなり低い。このことから小規模造船所の成長を刺激して、業界全体の生産能力を引き上げていくことが重要となる。しかし、大型船舶の造船需要があるかと言えば、それはこれからの話であり、小規模な造船所にとって事業近代化を進める動機に欠けるため、最初の戦略には国内の造船事業者に対する事業助成や優遇措置の規定を含めることとなった。この戦略の下、次のような行動計画/方針/プログラムが実施される予定である。

- 1) スービックで造船所・造船施設/設備の指定区開発（SBMAによる事業化調査後に決定）

担当庁：スービック湾開発庁（SBMA）

目標事業 / 時間的枠組み：

- 7.1 ヘクタールの造船所を 2008～2009 年までに開設予定
- 100 ヘクタールの造船所を 2009～2010 年までに開設予定

投資要件：

7.1 ヘクタールの造船所建設の事業化調査費 3 万～5 万米ドル、100 ヘクタールの造船所建設の事業家調査費 35 万米ドル。

同プログラムは不動産や設備投資の余裕がない小規模造船所にとって大きな助けと

なるだろう。

スービック湾開発庁は現在、スービック湾自由港内の海運補給所（NSD）の敷地にある 7.1 ヘクタールの造船/船舶修繕施設について事業化調査を行っている。同庁は、複数の造船・船舶修繕を可能とするシンクロリスト移送システムの設備やインフラを整備して、このエリアを開発していく計画である。開発終了後、スービック湾開発庁は登録事業者と同造船所を短期/長期の期限付きでリースするか、あるいは事業の受注ベースでリースしていく方針だ。

この 7.1 ヘクタールの造船所は、500 重量トン以下の船舶に対応する規模で NSD 敷地内で既に開発中であるのに対し、100 ヘクタールの造船所（現在のハンジン・シップ・ビルディング事業の近く）については、現在スービック湾開発庁が調査中だ。同事業はスービック湾開発庁とサンバレス州政府の合弁事業で、スービック湾開発庁理事会も承認済みである。この 100 ヘクタールの造船所でもシンクロリフト技術を導入し、1 万重量トン以下の船舶に対応する能力となる予定だ。同造船所はモジュール造船/修繕やその他造作工事に適した作業所も作られる。用地のうち約 60～70%が造成され、期限付き（長期/短期）リースかプロジェクトベースのリースで、国内および海外の造船/船舶修繕事業者と契約していく。

こうした事業の実施により、同産業の需要および課題に対応できる国内の造船所が増えていくと期待されている。

2) 認可事業者の設備施設/事業の開発・近代化に向けた融資/信用保証の提供

実施機関：国家海運リース公社（NMLC）、フィリピン開発銀行（DBP）、フィリピン貿易信用機構（PHILEXIM）

目標事業/時間的枠組み：2007～2010 年に毎年 2 社以上の登録事業者に融資を行う

投資要件：5 億ペソ以上

同プログラムは小規模造船所の資金調達の課題を解決し、事業を拡大・近代化できるメリットがある。大型船舶の造船/修繕事業を視野に入れて生産能力や設備を拡大したい造船所に対し、国家開発公社（NDC）傘下の国家海運リース公社（NMLC）およびフィリピン開発公社（DBP）が造船能力引き上げのための事業に資金を配分する。同プログラムの下、NMLC は具体的に、技術者養成プログラムに取り組む造船所で、かつ事業のモジュール工法を利用した造船事業で利用されるクレーンの購入に対してリースによる資金調達を行う。

一方で他の金融機関と融資交渉中の造船所は、フィリピン貿易信用機構（PHILEXIM）が保証人になることで事業助成とする。

融資/信用供与は小規模造船所向けに意図されており、事業拡大のための追加投資の決断を早めることで大型船舶の造船/修繕を行う国内造船所の増加という最終目的を下支えする。内航船舶の新造船や外航船舶の修繕に対する需要が高まったとき、こうした需要に対応可能な造船所の数が増えるとみられる。

3) 下記のような優遇措置を造船/船舶修繕事業者に積極的にアピールする；

- 共和国法第 9295 号（造船・修繕事業に必要な輸入資材の VAT 免税）；
- 共和国法第 226 号/投資優先計画（資本財輸入の免税、所得税免税）；
- 改正共和国法第 7916 号

実施機関：海運産業庁（MARINA）、貿易産業賞（DTI）－投資委員会（BOI）、財務省（DOF）フィリピン経済区庁（PEZA）

目標事業/時間的枠組み：

- 2007～2010 年にかけて造船所向けの情報キャンペーン
- 2007 年までに海運産業庁（MARINA）内に投資アシスタントデスクを設置

投資要件：政府機関の予算から資金調達

国内には特に小規模造船所など事業に利用できる優遇措置規定を十分に認知していない事業者もいる。競争性を高めるためにこうした優遇規定が重要であることから、政府の各実施機関がそれぞれ優遇措置情報を広報していくことが大切である。造船所が操業する地域で海運産業庁（MARINA）、投資委員会（BOI）、財務省、フィリピン経済区庁（PEZA）が合同でセミナーを実施するなどの案がある。

自社が利用できる優遇措置を知ることで、事業の実行可能性や収益性が拡大し、これが大型船舶向け造船/修繕事業に参画するきっかけとなるだろう。

戦略 2：フィリピン造船所と海外大手の合弁事業や提携、投資事業を実施するため海外市場でのプレゼンスを積極的に高め、資金や技術移転、さらに海外の動向や最良の実施モデルを吸収していく。

事業助成や優遇措置のほかに、大型船舶の生産能力増強を視野にいたした造船産業振興の一策として、技術・設備力の高い海外大手と国内企業が合弁事業や共同運営で提携していくことが挙げられる。外国の造船大手と合弁するこの戦略では資本の課題をクリアするだけでなく、最新技術や最新設備の導入にもつながるので、戦略 1 の補完と

なりえるものだ。

国内の造船事業者は、外国での競合産業の動向を知ること、国内事業の能力、効率性、競争力を引き上げていく必要がある。海外事業との提携により造船施設/設備の近代化・開発に向けた包括的インプットを得るだけでなく、国内造船事業を世界の主流な造船ネットワークに拡大できるメリットがある。

この戦略の行動計画は以下の通り。

1) フィリピン造船市場を海外企業の投資先として積極的に売り込む

実施機関：貿易産業省（DTI）、外務省（DFA）、海運産業庁（MARINA）

目標事業/時間的枠組み：

- 2007年までにフィリピン造船産業促進のための広報資料を製作
- 2007～2010年まで外務省および貿易産業賞が投資促進ミッションを海外派遣

投資要件：各政府機関の予算から資金調達

国内のいくつかの造船所で大型船舶も造船できるまでに設備/施設をアップグレードしたり、また国際市場の外航船舶がフィリピンで修繕/乾ドックするようになるためには、外国投資を同産業に誘致していくことが、補完的な解決策となる。もし日本、韓国、中国、シンガポールなど海外の造船事業者がフィリピン造船事業者との合弁や現地法人設立に関心を寄せれば、フィリピンの造船産業は一気に発展し、その結果として国内外の大型船舶需要に対応していけるようになるだろう。

この行動計画では、国内造船・船舶修繕産業が有する強みと機会を浮き彫りにし、外務省や貿易産業省が投資促進/貿易ミッションで使用する広報用資料にもそれらを盛り込んでいる。

- 2) 国内造船産業の主要な役人や技術専門家が海外造船所を視察；
- 3) 国際的な造船・船舶修繕関連の貿易展示会に出展；
- 4) 最新造船事業に関するセミナー実施

実施機関：海運産業庁（MARINA）の助成を受けた造船事業者連盟

目標事業/時間的枠組み

- 2007～2010年に国内造船事業者の海外での認知度を上げる

投資要件：民間セクター/外国/援助機関から資金調達

上記の行動計画は国内造船産業を海外に開かせるもので、そこで得られた見識、知恵、アイデアが国内産業をさらに刺激し、施設/設備の開発や近代化を促進して国際競争力を得ていくことを目的とするものである。

第2の目標に向けて：

国内産の船舶数を増やし、また国内で修復/乾ドックされる外航船数を増やすという2つ目の目標を達成するため、以下のような3つの基礎戦略が策定された。

戦略1：造船・船舶修繕の幅広い経験を得るために国内造船所への発注機会を増やし、事業効率とコスト競争力を改善していく

現状では国内の内航船舶の造船は小型ボートや荷船を除いては造船事業自体が少なく、外航船の多くは中国、シンガポール、日本などで乾ドック/修繕を行っているため、国内造船産業の生産性を向上させるには、国内での造船事業を増やすことが一策である。これで国内産船舶の隻数が増えるだけでなく、造船所が経験と実績を積めることになる。

この戦略は国内の造船事業者に外国産ではなく、国内産の大型船舶の購入を説得しているという点で具体的な枠組みを示すものとなっている。こうした事業が一度成功すれば、国産船舶の国内での需要が一気に高まるとみられる。

この戦略の一環として実施される行動計画は以下のとおり。

1) マリタイム・リーシング社（NMLC）と造船事業者のリース契約締結後、SRNH構想向けの標準規格 RORO 船 2 隻の国内造船に向けリース金融

実施機関：マリタイム・リーシング社（NMLC）

目標事業/時間的枠組み：

- 2008年までに 200 総トンと 400 総トンの RORO 船を国内で建造

投資要件： 1 億 6,500 万ペソ

この行動計画では海運産業庁（MARINA）とマリタイム・リーシング社（NMLC）が共同で RORO 船舶の標準設計を作成することが第一段階となり、安全要件に見合った基本スペックや規格を規定することで、不必要なコストを削減できることが期待される。最初に 2 隻の RORO 船舶について設計開発を行う予定；

- 200 総トンの RORO 船舶。LCT プラットフォーム（平底式）で収容数 300 人、トラック 6 台、普通車 12 台；

- 400 総トンの RORO 船舶。LST プラットフォーム（船形式）で収容数 500 人、トラック 12 台、普通車 24 台；

今後開発される船拍の標準設計は、政府が発足する、海運産業庁（MARINA）、マリタイム・リーシング社（NMLC）、民間セクター（造船事業者、造船技師、船級協会など）の代表者から構成される委員会によって、末端利用者の意見を聞きながら監査/評価されなくてはならない。同委員会はリース金融プログラムの下で最終的な国内造船の標準設計を NMCL に推奨する。

同計画の第二段階は、NMLC が応募で決定した造船事業者とリース契約を提携し、NMLC がリース金融で各 RORO 船の試作品を 1 隻ずつ建造させる。

NMLC の主導による標準設計作成と RORO 船 2 隻の建造を含むこういった行動計画により、国内造船産業は SRNH 航路への配船に適した船舶の品質、コスト、諸条件といった標準規格をクリアできる造船能力を実証できることになる。

最大のメリットは、老朽化した内航船の入れ替えや近代化という目的の中で、国内造船所の造船能力や信頼性を拡大できることにある。これによって造船産業の自信が確立し、これまで外国産中古船に依存してきた状況から自立できるようになる。また当然、投資や雇用創出が増大し、特に地方では草の根レベルで経済成長の加速化が期待される。

2) 「メトロスター・フェリー・システム・プロジェクト」に投入する双胴型フェリー船 6 隻とその他の国内造船に向け資金供与

実施機関：フィリピン貿易信用機構（PHILEXIM）

目標事業 / 時間的枠組み：2008 年までにフェリー船 6 隻を国内で建造

投資要件：2 億 5,000 万ペソ

「メトロスター・フェリー・システム・プロジェクト」は以下の航路で運航される事業である；

航路 1：カビテ市～SM モールオブアジア（往復）

航路 2：カビテ市～ルネタ区ボードウォーク～デルパンブリッジ（往復）

将来的には沿海部とカビテ（例：ロサリオ、タンザ、ナイク、タルナテ、コレヒドール）やバターン（例：オリオン、リマオ、マリベレス、バラング）の市町村を結ぶ航路も開発していく予定だ。

同行動計画の下で、まずナボタス町タンザにあるアクセス・マリン社が双胴型フェリー6隻の建造を国内で手がける。波止場/ターミナルもカビテ市と SM モールオブアジア、その他の拠点に建設される。フェリーの造船費用は以下のように見積もられている；

- フェリーボート No. 1（収容人数 130 人） ---3,200 万ペソ
- フェリーボート No. 2（収容人数 250 人） ---3,800 万ペソ
- フェリーボート No. 3～6（収容人数 380 人） ----各 4,500 万ペソ

行動計画は 6 隻のフェリー造船のほか、国内造船所の実績や追加雇用の促進、政府の税収増、さらにマニラ首都圏から南部にかけての渋滞緩和や観光促進といった点で貢献できる。

3) 新造船や既存造船の維持管理/改良といったフィリピン海軍やその他政府機関の需要に対し、国内造船事業者の参加拡大を促す

実施機関：フィリピン海軍、その他フィリピン国家石油公社（PNOC）、国家食糧庁（NFA）

事業目標：フィリピン海軍近代化事業に関して国内造船事業者と対談および広報キャンペーン

時間的枠組み：2007 年から

投資要件：フィリピン国軍（AFP）および国家予算（GAA）から資金調達

国内造船業の機会を増大するもう一つの施策として、このフィリピン海軍近代化プログラムがある。共和国法第 7898 号（フィリピン国軍近代化法）で定められ、フィリピン海軍は最初に、軍の使命と目的を成就するため、船舶取得と船舶改良に着手した。

フィリピン海軍近代化プログラムの船舶調達方法は共和国法第 9184 号の規定により競争入札で行われたものの、多数の国内造船事業者が入札に参加することで、国内産業振興の目的をさらに明確に認識できるであろう。国内造船事業者は継続的にフィリピン海軍の造船/修繕ニーズを把握する必要があるため、フィリピン海軍近代化プログラムで規定される事業のチャンスに関して、フィリピン海軍は事業者と話し合いを持ったり、広報キャンペーンを実施したりしていく。

フィリピン海軍が予定している船舶購入/船舶改良で、国内造船所が参入できる分野；

- 輸送艇 (LCU) - 購入
- 高速フェリー - 購入
- 河川攻撃船 (RAC) - 購入
- 硬式ゴムボート (RHIB) - 購入
- 硬式舟艇 (RRC) - 購入
- PKM-高速攻撃艇 - 機能改善
- 監視船 - 性能改善 - 機能改善

4) 内航船近代化プログラムの国内造船事業に向け、政府による政府開発援助 (ODA) / 資金調達の交渉のため、長期資金調達計画を作成する

実施機関 : MNLC

事業目標 : 国家経済開発庁 (NEDA) に提出された造船事業のための長期資金調達計画

時間的枠組み : 2007 年第 4 四半期まで

投資要件 : なし

この行動計画は JICA が融資する「内航海運振興計画 (DSDP) に関する調査」の推奨に基づいたもので、内航船舶の取得に向けた資金供与を促進するものである。長期的な資金調達計画を策定することで、この長期資金調達計画が、今後の造船事業の基本的な枠組みとなり、低利の ODA や海外からの融資を利用して、国内の造船産業を活性化していく方策だ。

戦略 2 : 新しい内航船の建造や外航船の乾ドック/修繕のニーズを活性化するための政策措置の導入

戦略 1 の下で実現した国内造船/船舶修繕の事業機会を持続させるため、国内の新造船の需要も刺激されなくてはならない。この戦略の下、需要の引き上げを目指す行動計画/政策/プログラムを実施することで、国内造船の需要低迷という現状の課題に対応していくことができる。

1) 共和国法第 9295 号で規定される内航海運の「船舶退役補充プログラム」の策定と実施

実施機関 : 海運産業庁 (MARINA)

事業目標 : - 船舶退役・補充の方針を 2007 年第 4 四半期までに策定
- 船舶退役補充プログラムを 2008 年までに実施

投資要件：投資必要なし。政府機関の予算から調達。

「船舶退役補充プログラム」は、内航商船の海上安全の増大となるだけでなく、内航船の新しい船舶需要が生まれることになる。

船舶取得のニーズが出た際に明確になるのが中古の RORO 船が入手できないという事実であろう。特に日本は RORO 船を完全に廃止しているため、中古船市場で RORO 船を入手することが困難となっている。もし RORO 船が販売されていても価格面で魅力的ではないはずなので、国内の船舶事業者は、代替案として新しい船舶の購入を検討し始める。新しい船舶を外国に発注しようとしても、海外の多くの造船所は 2010 年まで造船発注で埋まっているため、ここで国内造船所にとってはこれら需要を一気に引き受けるチャンスとなる。

RORO 船以外にも油タンカー、一般貨物船、その他の船舶についても同様の状況が予測される。

2) 共和国法第 9295 号に沿って、船舶輸入の段階的制限を策定・実施する

実施機関：海運産業庁（MARINA）

事業目標： - 特定船種/規模の輸入制限に関する指針を 2007 年第 4 半期までに発表
- 2008～2010 年の期間に国内造船能力を定期的に評価/調査

投資要件：投資必要なし。政府機関の予算から調達。

これによって内航船舶の退役を義務付ける行動計画/政策を補完的にサポートする。特定の船種/規模の輸入を進行的に制限することで、国内造船所は内航船舶の造船事業という大きなチャンスを得ることになる。ただ、こうした輸入制限は、国内の内航船舶事業に影響が出ないように、国内造船所が生産できる船舶の種類やサイズを定期的に査定した上で実施されるべきである。制限内容はこの定期査定の結果に応じて必要ならば修正される。国内の船舶需要を徐々に国内造船所が引き受けることでより多くの船舶が国内で建造されるが、さらにこの輸入制限策によって、国内造船所が事業経験を拡大し、資金、施設、労働力、能力、実績などを徐々に引き上げていくことができる見込みだ。

戦略 3：国内の造船/船舶修繕の事業効率改善を促進

この戦略の枠組みは、国産船舶をより多く建造するため、国内造船所が事業内容やコスト効率を改善して諸外国との競争性を高めるものである。この分野を改善することで、優秀な労働力や技術力、政策環境というフィリピンの有利性をさらに増大させ

ることが可能となる。予定されている行動計画/政策/プログラムは以下のとおり；

- 1) 造船事業に適した優先地域を策定/選出して効率的運営を促進、また政府の税制優遇措置を活用する

実施機関：海運産業庁（MARINA）、フィリピン経済区庁（PEZA）、貿易産業省（DTI）-投資委員会（BOI）、造船所協会

事業目標：造船所の事業地を経済区として登録し、また/もしくは指定区の造船事業を投資委員会（BOI）に登録する

時間的枠組み：2007～2010年

投資要件：各政府機関の予算から資金調達

既存の造船所が一ヶ所で事業を実施すれば、事業者の資力や設備を共有でき、得意分野/専門性に基づいた作業配分や系統的な造船工程を調整することが可能となり、運営効率化とコスト削減が期待できる。これにて資本経費を削減できるだけでなく、効率性の向上と運営費削減も達成でき、経済的な競争力が身に付くだろう。さらにメリットを高めるには、事業地を経済区に指定し、そこで操業する事業者を投資委員会に登録して、優遇措置を活用してさらに運営経費を削減することが可能だ。

- 2) 国内造船の効率改善を促進するための造船作業工程のモジュール化を助成/推奨する

実施機関：マリタイム・リーシング社（NMLC）、海運産業庁（MARINA）、造船所協会

事業目標：造船作業工程のモジュール化を策定/実施

時間的枠組み：2008～2010年

投資要件：必要なし

これは先行する行動計画の相補的な役割を担い、造船作業の系統化やモジュール化を実践/準備していることを NMLC の資金供与の基本条件とすることで、さらに活性化する方針である。最初にマリタイム・リーシング社（NMLC）は、連続的な造船工程に必要となるヘビーリフトクレーン取得で国内造船所に対しリース金融を提供するものとする。一方で海運産業庁（MARINA）は造船工程のモジュール化促進に向け、造船事業者とセミナーやミーティングを開催する。

こうした実践により事業者の効率性が向上できるだけでなく、単体の事業者では成

し遂げられない大型の造船/船舶修繕事業ができるよう事業者間の連携が確立されるメリットがある。

3) 内航船舶の種類ごとに標準設計を作成する

実施機関：マリタイム・リーシング社（NMLC）、海運産業庁（MARINA）、造船所有者、造船所、フィリピン港湾庁（PPA）

事業目標：RORO 船とタンカーの標準設計

時間的枠組み：2007～2008 年

投資要件：各政府機関の予算と造船所の援助から資金調達

船舶の建造において費用要素が高いのが設計や綿密な計画である。この設計費用を最小化すれば、造船事業の総額に削減することができる。

この行動計画は、マリタイム・リーシング社（NMLC）による RORO 船 2 隻の融資事業で船舶の標準設計を利用するという前述の行動計画と連携して実施されるものであり、拡散の効果が出て、船舶設計や造船計画にかかる必要を著しく削減することになる。例えば RORO 船の標準設計が策定・導入されれば、国産 RORO 船の所有を検討する国内の船舶所有者/海運事業者は同じ設計計画を利用でき、新しく設計する必要がなくなる。船舶の標準設計では使用される素材や機械設備の基本スペックも提示しており、長さや幅など船舶規模をある程度変動できる柔軟性ももたせているため、造船工程のモジュール化や資材・機械設備の大量調達といった部分で効率的・経済的な建造を促進することができる。またこれによって造船にかかる時間も大幅に縮小できることが容易に期待される。

船団を所有する海運事業者にとっては、異なる設計/機材設備を有する複数の船舶を運営したときに比べて、機械装置のスペアや修理用資材など最小限の量を保持すればよいので、事業効率化をもたらすことができる。

4) 政府は造船・船舶修繕用部品の輸入計画を制度化し、価格と供給を安定化させる

実施機関：フィリピン国際貿易公社（PITC）、NMLC。海運産業庁（MARINA）、BOC、造船事業者と共同で実施。

事業目標：時間的枠組み：

- 造船/船舶修繕で使用頻度の高い部品リストの作成（2007 年第 4 四半期まで）
- 大量輸入計画の設定と実施（2008 年まで）

- 造船・船舶修繕に必要な資材/部品の保税倉庫の認定（2008～2010年）

投資要件：（概算は大量購入する資材/部品リストによる）

同行動計画の下、マリタイム・リーシング社（NMLC）はフィリピン国際貿易公社（PITC）と連携し、ABSグレード鋼板や船舶用エンジン、発電装置といった造船・船舶修繕に重要な資材の購入に向け、「大量調達スキーム」を開発する予定だ。大量調達スキームに網羅される資材/部品リストは、NMLCと海運産業庁（MARINA）が海運事業者を対象に実施した調査の結果に基づいて策定される。この調査では、造船・船舶修繕事業で常用される重要な資材/部品の年間使用量を確認するために実施された。

PITCは信用状の対象となっている造船所/供給者の輸入必要量を集計し、船荷単位での卸売り価格を交渉する予定だ。船舶の到着と同時に、造船所/供給者は個別の注文を引き出すので、倉庫業者の介入や在庫整備の必要がなくなる。

取得原価を大幅に削減できる大量購入スキームにより、造船・船舶修繕の資材/部品のコスト引き下げを実現し、ひいては造船費用のコスト削減となって競争力を増大させることができる。さらに大量購入スキームは重要資材/部品の安定的かつ即時の供給を可能とするため、現在のように資材/部品の輸入や関税手続きで造船・船舶修繕の現場への到着が遅れるということがなくなる。従って同スキームは造船事業、また乾ドック/修繕事業の納期を早めることになり、結果として同産業の能力と競争性が引き上げられる。

5) 造船・船舶修繕のほか燃料補給、エンジン・器具・機材の整備などの造船関連事業に対応する「海運産業団地と物流センター」の実現、また規制・安全業務の実施。

実施機関：スービック湾開発庁（SBMA）、PHIVIDEC、海運産業庁（MARINA）

事業目標：時間的枠組み：

- SBMAが海運業の中心拠点となる（2008年まで）
- PHIVIDEC海運産業団地の操業企業を誘致（2007～2010年）

投資要件：ODA/JICA/その他内外から資金調達

当地の造船・船舶修繕サービスを活用する国内外の海運事業者をさらに誘致していくには、特に同じ地域に海運業者が集中している場合、海運関連の各種サービスを提供できることが非常に重要である。従って海運産業団地や物流センターの主旨は、一拠点で海運事業に必要な全てのサービスを受けられるワンストップショップとなることである。こうした産業団地は時間やコストの削減といった利点を得るだろう。

このワンストップショップの実現に理想的な地域はスービック湾とミサミスオリエンタル州の PHIVIDEC 工業団体である。スービック湾のほうは、SBMA が事業計画をまとめて、既に物流センターの設立に向けて動いている。一方、PHIVIDEC 工業団体のほうも、海運産業団地の構想が描かれているものの、海運関連サービス業者を引き付けるための積極的なマーケティングが必要となっている。

この構想が実現すれば、国内の造船・船舶修繕事業における経済性・効率性の大幅引き上げに寄与できるだろう。

6) 造船・船舶修繕関連産業の振興に向けた事業助成

実施機関：貿易産業省 (DTI)・投資委員会 (BOI)、海運産業庁 (MARINA)

事業目標：時間的枠組み：

投資優先計画 (IPP) で規定される優遇措置；

- 製鋼業
- 船舶エンジン製造業
- 電子部品製造

時間的枠組み：2007～2011 年

投資要件：必要なし

造船・船舶修繕産業には、鉄鋼、鉄棒、船舶用エンジン、発電装置、プロペラ、海底ケーブル、電気設備、救命設備等といった非常に多くの資材・部品・設備が必要である。これらの多くは現在、外国からの輸入物に頼っており、調達までの時間が長いため納期遅延の原因ともなっている。前述のとおり、納期遅延の課題は大量購入スキームによってある程度解決できるが、特に鋼板、船舶用エンジン、電気設備などを生産する国内産業を長期的に育てていくことも大切だ。本開発計画の期間中に、投資優先計画 (IPP) の中で利用できる優遇措置を実施していくことも目的の一つである。

こうした関連産業/裾野産業の発展を通じて、造船・船舶修繕の能率性、競争性、自立性はさらに増大でき、同時に同セクターからの利益を拡大していくことができる。

第 3 の目標に向けて：

第 3 の目的である、技術労働者/優秀な労働力プールを拡充するため、以下の 2 つの戦略が取られる。

戦略 1：造船事業分野の研修プログラムまた専門技術者育成のための事業助成/優遇措置の規定と実施

政府の援助で研修プログラムを継続的に実施することで、潜在的な技術力や有利な報酬という点で、造船産業の労働力確保というメリットにつながっていくだろう。研修プログラムは溶接、船具、現図場、電気設備、水中溶接などについて行われ、労働者の技術・能力を向上し、競争力を付けていくものである。この戦略を通して、造船事業の労働力が増加しても対応でき、前述の 2 つの目的を達成する土台となる。

技術労働者のほか、この戦略は造船工学、船舶工学、その他関連するエンジニアリング分野の卒業生を継続的に輩出する必要性も考慮しており、造船・船舶修繕産業に従事できるこれら技術専門家に対する卒業後の研修も検討される。

1) 造船技能（溶接、船具、原図場、電気設備、水中溶接等）に関する研修プログラムの実施

実施機関：技術教育技能開発庁（TESDA）、専門学校、造船所

事業目標：造船技術者を養成

時間的枠組み：2007～2010 年

投資要件：各機関より資金調達

技術者の需要増が見込まれる中、行動計画ではそうした需要増に対応できる労働力を確保することが重要となっている。

技術教育技能開発庁（TESDA）と専門学校は全国区での造船関連技術の研修プログラムを継続する同時に、専門学校の卒業生には造船所での実地訓練をもって、労働力プールを確保していく。こうした研修プログラムは TESDA で規定される現行プログラムと平行して行われる。

労働者のクオリティは製品のクオリティに実質的な影響を与えるため、造船技術トレーニングは同産業振興に欠かせない重要な要素である。技術労働者はまた、国内造船産業の事業効率やコスト競争力の決定にも重要な役割を担う。

2) 造船工学、船舶工学、その他関連エンジニアリングのカリキュラムを構築・強化し、同時に研修プログラムも継続的に実施する（例：CAD 等）

実施機関：高等教育委員会（CHED）

事業目標：造船・船舶修繕産業の専門技術者をより多く卒業させる

時間的枠組み：2007～2010年

投資要件：機関より資金調達

国内での造船事業や船舶整備/近代化事業が増えれば、技術労働者のほか専門技術者（例：造船技師、船舶技師、安全技師、電気技師）の需要も伸びると見られている。向こう数年は前述のように造船工学、船舶工学の教育機関から専門の卒業生を世に送り出すことが重用となる。この行動計画の下で、高等教育委員会（CHED）は工学課程のある大学機関と緊密に連携して、造船関連課程の開設を促進していく予定だ。こうした行動計画の実施によって、労働力の需要増に対応していく。

3) 国内造船所による職業訓練プログラムと造船施設・設備の水準改善に向けたリース金融の実施

実施機関：マリタイム・リーシング社（NMLC）

事業目標：造船事業者による職業訓練プログラムの実施

時間的枠組み：2007～2010年

投資要件：2億ペソ

この行動計画は造船所労働者に適切な訓練を提供し、技術水準を引き上げることを目的としたものである。マリタイム・リーシング社（NMLC）による造船所水準改善に向けた財政的な助成/融資にはこの行動計画が含まれる。国内造船所は、政府援助が必要な造船施設/設備の改良に加えて、職業訓練プログラムで経費が増大すると予想されるため、こうした研修セミナーは技術教育技能開発庁（TESDA）が後押ししていく。同産業にとって技術労働者のプールを確保するため、こうした調整を進めていくことが、同行動計画に示される目的を成就する一策となる。

4) 国内の造船産業の技術労働者、専門技術者のトレーニング/技能実習（OJT）を交渉・制度化する。

実施機関：海運産業庁（MARINA）、技術教育技能開発庁（TESDA）、造船事業者

事業目標 / 時間的枠組み：

- 海運産業庁（MARINA）、技術教育技能開発庁（TESDA）と造船事業者の協定書締結（2008年まで）
- 協定書の発効（2008～2010年）

投資要件：必要なし

技術教育技能開発庁 (TESDA) や専門学校によって造船関連の研修が終了した者が、修得した技術を国内造船所で実地訓練できるよう、職業訓練トレーニングや各種研修プログラムは、実習までを一つのプログラムとして扱い、実地経験と能力を高めていく必要がある。この行動計画では海運産業庁 (MARINA) と TESDA が国内造船事業者と協定書を締結し、造船関連の学位保有者や職業訓練の修了者に OJT もしくは就職の機会を提供していく。

造船関連の研修生や卒業生に対して提供されるこうした現場実習は、造船産業の潜在的な労働力を確保できると同時に、技術労働者や専門技術者の能力と質を保証していくものとなる。

戦略 2：国内造船事業向けの技術労働者や技術専門家の育成

フィリピン造船産業労働者の潜在的な能力と高品質の技量、比較的安価な労働力という優位性を考慮すれば、今後、諸外国の造船事業者が競って国内労働者の雇用に出ると期待される。こうした点を考えると、国内造船所に従事できる潜在労働力を確保することが大変重要であるため、以下の行動計画を採用する；

- 1) 行政命令第 588 号に従って、研修を受けた技術労働者や専門技術者の海外雇用の変化を規制する

実施機関：労働雇用省 (DOLE)、海外雇用局 (POEA)

事業目標 / 時間的枠組み：

- 造船・船舶修繕の登録時業者の雇用権利、および労働者の国内雇用/海外雇用に関する政策ガイドライン/施行規則の発行 (2007 年第 4 四半期まで)

投資要件：必要なし

行政命令第 588 号の関連規定を行使することで、造船所労働力として研修を受けた者は、POEA の政策ガイドラインで規定されるとおり、国内造船所での就労するチャンスがある。これによって、造船事業に必要な適切な技術者が不足するという国内造船産業の潜在的な問題に対応できる予定だ。こうした労働力不足の問題が現実となれば、諸外国の造船産業との競争に打ち勝つという目標を根本的な脅かしかねない。これはまさに国内の内航海運業にも当てはまる問題で、現在同産業に従事している者は、報酬がより高い外航海運業にチャンスさえあれば移りたいと思っているのである。海外雇用局 (POEA) の発行した政府ガイドラインにより、内航海運業のような状況は回避できるだろう。

2) 国内の造船技術者向けの雇用機会についての広報を実施

実施機関：労働雇用省（DOLE）

事業目標 / 時間的枠組み：

- 就職情報誌等を通じた情報キャンペーン（2007～2010年）

投資要件：必要なし

投資要件：機関より資金調達

造船産業の労働力が海外に流出することを規制する行動計画をさらに補完するものとして、国内造船産業の採用情報を広く求職者に宣伝していくことも必要である。この行動計画は労働雇用省（DOLE）が実施するもので、造船産業の求人情報を紹介していく。こうして求人情報が広く配布されることで、国内の造船産業は労働力をフルに活用することができる。

「フィリピン造船・船舶修繕産業の包括的開発計画」の別添として、計画の詳細を分かりやすくまとめた表を添付する。

白

別添 1 : 「フィリピン造船・船舶修繕産業の包括的開発計画」 詳細

白

フィリピン造船・船舶修繕産業の包括的開発計画（2007～2010年）

目標：フィリピン造船・船舶修繕産業の強化および同産業の発展促進に向けた取り組みの策定：

目標1：内航船の造船および外航船の修復/乾ドックといった新たな需要増に対応できる競争力のある国内の造船所を増やす

戦略	行動計画/政策/プログラム	実施機関	事業目標	時間的枠組	投資要件
1. 造船所や設備/施設、生産能力、競争力を引き上げるための事業助成や優遇措置を提供する	<ul style="list-style-type: none"> スービックの造船指定区開発に向けた事業化調査。必要な施設・設備も調査 	SBMA	<ul style="list-style-type: none"> マニラ首都圏で操業する既存の造船所を7.1ヘクタールの造船指定区に移転 リースヘクタールの造船施設/設備でリース募集 	2008 2010	<ul style="list-style-type: none"> ODA/JICA/その他内外の融資機関
	<ul style="list-style-type: none"> 造船施設・設備の近代化に向けた融資/信用供与 	PHILEXIM, DBP NMLC	<ul style="list-style-type: none"> 年間2社の造船所に融資提供 事業のモジュール工法を利用した造船事業で利用されるクレーンの購入に対してリースによる資金調達 情報キャンペーン MARINAに造船関連投資アシスタントデスクを設置 	2007-2010 2007-2010	<ul style="list-style-type: none"> 5億ペソ以上 2億ペソ以上
	<ul style="list-style-type: none"> 造船・船舶修繕事業者が利用できる優遇策や資金調達について情報キャンペーンで積極的に広報 	MARINA BOI, DOF PEZA		2007-2010	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関より資金調達

戦略	行動計画/政策/プログラム	実施機関	事業目標	時間的枠組	投資要件
	<ul style="list-style-type: none"> - 共和国法第 9295 号 (造船・修繕事業向けの輸入資材の VAT 免税) ; - 共和国法第 226 号/投資優先計画 (資本財輸入の免税、所得税免税) ; - 改正共和国法第 7916 号 				
2. フィリピン造船所と海外大手の合弁事業や提携、投資事業を実施するため海外市場でのプレゼンスを積極的に高め、資金や技術移転、さらに海外の動向や最良の実施モデルを吸収していく。	<ul style="list-style-type: none"> ● フィリピン造船市場を海外企業の投資先として積極的に売り込む ● 海外造船所を視察 ; ● 造船・船舶修繕関連の海外貿易展示会に出展 ; ● 最新造船事業に関するセミナー実施 	DTI, DFA, MARINA 造船所, DTI, DFA, MARINA	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報資料を製作 ● 投資促進ミッションを派遣 ● 国内造船所のプレゼンス増大 	2007-2010 2007-2010	<ul style="list-style-type: none"> ● 各機関より資金調達 ● 民間セクター/外国/援助機関から資金調達

目標 2 : 国内産の船舶数を増やし、また国内で修復/乾ドックされる外航船数を増やす

戦略	行動計画/政策/プログラム	実施機関	事業目標	時間的枠組	投資要件
1. 造船・船舶修繕の幅広い経験を得るために国内造船所への発注機会を増やし、事業効率とコスト競争力を改善していく	● マリタイム・リーシング社 (NMLC) と造船事業者のリース契約締結後、SRNH 構想向けの標準規格 RORO 船 2 隻の国内造船に向けリース金融	NMLC	● 新しい RORO 船 2 隻の国内造船	2008	● P 165 M
	● メトロスター・フェリー・システム・プロジェクトに投入する双胴型フェリー船 6 隻とその他の国内造船に向け資金供与	PHILEXIM	● フェリー 6 隻の国内造船と操業	2008	● P 250 M
	● 新造船や既存造船の維持管理/改良といったフィリピン海軍やその他政府機関の需要に対し、国内造船事業者の参加拡大を促す	PN その他政府機関 (PNOC, NFA 等)	● フィリピン海軍近代化事業に関して国内造船事業者と対談および広報キャンペーン	2007-2010	● AFP 近代化予算および国家予算

戦略	行動計画/政策/プログラム	実施機関	事業目標	時間的枠組	投資要件
	<ul style="list-style-type: none"> 内航船近代化プログラムの国内造船事業に向け、政府による政府開発援助（ODA）/資金調達の交渉のため、長期資金調達計画を作成する 	NMLC	<ul style="list-style-type: none"> NMLC が NEDA に造船事業のための長期資金調達計画を提出 	2007 年 4 半期	<ul style="list-style-type: none"> なし
2. 新しい内航船の建造や外航船の乾ドック/修繕のニーズを活性化するための政策措置の導入	<ul style="list-style-type: none"> 共和国法第 9295 号で規定される内航海運の「船舶退役補充プログラム」の策定と実施 	MARINA	<ul style="list-style-type: none"> 船舶退役補充プログラム 	2007 年 4 半期	<ul style="list-style-type: none"> 予算必要なし
	<ul style="list-style-type: none"> 共和国法第 9295 号に沿って、船舶輸入の段階的制限を策定・実施する 	MARINA	<ul style="list-style-type: none"> 国内造船能力を定期的に評価/調査 特定船種/規模の輸入制限に関する指針 	2008,2009, 2010 2007 年 4 半期	<ul style="list-style-type: none"> 予算必要なし 予算必要なし
3. 国内の造船/船舶修繕の事業効率改善を促進	<ul style="list-style-type: none"> 造船事業に適した優先地域を策定/選出して効率的運営を促進、また政府の税制優遇措置を活用する t 	MARINA, PEZA, BOI, 造船所協会	<ul style="list-style-type: none"> 造船所の事業地を経済区として登録し、また/もしくは指定区の造船事業を投資委員会（BOI）に登録する 	2007-2010	<ul style="list-style-type: none"> 各機関より資金調達
	<ul style="list-style-type: none"> 国内造船の効率改善を促進するための造船作業工程のモジュール化を助成/推奨する 	造船所 NMLC	<ul style="list-style-type: none"> 造船作業工程のモジュール化を策定/実施 クレーン取得にリース金融を提供 	2008-2010 2008-2010	<ul style="list-style-type: none"> 予算必要なし 2 億ペソ以上
	<ul style="list-style-type: none"> 内航船舶の種類ごとに標準設計を作成する 	NMLC, MARINA, 海運事業者, 造船所, PPA	<ul style="list-style-type: none"> 標準船舶設計 <ul style="list-style-type: none"> - RoRo 船 - タンカー - FRP ボート 	2007-2008	<ul style="list-style-type: none"> 各機関より資金調達

戦略	行動計画/政策/プログラム	実施機関	事業目標	時間的枠組	投資要件
	<ul style="list-style-type: none"> 政府は造船・船舶修繕用部品の輸入計画を制度化し、価格と供給を安定化させる 	PITC, NMLC, BOC, MARINA, 造船所	<ul style="list-style-type: none"> 造船/船舶修繕で使用頻度の高い部品リストの作成 大量輸入計画の設定と実施 造船・船舶修繕に必要な資材/部品の保税倉庫の認定 	<p>2007</p> <p>2008</p> <p>2008-2010</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 造船・船舶修繕のほか燃料補給、エンジン・器具・機材の整備などの造船関連事業に対応する「海運産業団地と物流センター」の実現、また規制・安全業務の実施。 造船・船舶修繕関連産業の振興に向けた事業助成 	<p>SBMA, PHIVIDEC, MARINA</p> <p>DTI, MARINA</p>	<ul style="list-style-type: none"> SBMA が海運業の中心拠点となる PHIVIDEC 海運産業団地の操業企業を誘致 投資優先計画（IPP）で規定される優遇措置； <ul style="list-style-type: none"> - 製鋼業 - 船舶エンジン製造業 - 電子部品製造 	<p>2008</p> <p>2007-2010</p> <p>2007- 2010</p>	<ul style="list-style-type: none"> ODA/JICA/ その他内外から資金調達 予算必要なし

目標 3：造船/船舶修繕事業に従事できる技術労働力を確保する

戦略	行動計画/政策/プログラム	実施機関	事業目標	時間的枠組	投資要件
1. 造船事業分野の研修プログラムまた専門技術者育成のための事業助成/優遇措置の規定と実施	<ul style="list-style-type: none"> 造船技能（溶接、船具、原図場、電気設備、水中溶接等）に関する研修プログラムの実施 	TESDA, 造船所, 専門学校 TESDA	<ul style="list-style-type: none"> 造船技術者を養成 造船・船舶修繕セクターの全国データベース設置 	2007-2010 2008 - 2010	<ul style="list-style-type: none"> 各機関より資金調達 各機関より資金調達
	<ul style="list-style-type: none"> 造船工学、船舶工学、その他関連エンジニアリングのカリキュラムを構築・強化し、同時に研修プログラムも継続的に実施する 	CHED	<ul style="list-style-type: none"> 造船・船舶修繕産業の専門技術者をより多く卒業させる 	2007-2010	<ul style="list-style-type: none"> 各機関より資金調達
	<ul style="list-style-type: none"> 国内造船所による職業訓練プログラムと造船施設・設備の水準改善に向けたリース金融の実施 	対象となる造船所/ NMLC	<ul style="list-style-type: none"> 造船事業者による職業訓練プログラムの実施 	2007-2010	<ul style="list-style-type: none"> 予算必要なし
	<ul style="list-style-type: none"> 国内の造船産業の技術労働者、専門技術者のトレーニング/技能実習（OJT）を交渉・制度化する。 	MARINA, TESDA, 造船所	<ul style="list-style-type: none"> MARINA、TESDA と造船事業者の協定書締結 協定書の発効 	2007-2008 2008-2010	<ul style="list-style-type: none"> 予算必要なし
2. 国内造船事業向けの技術労働者や技術専門家の育成	<ul style="list-style-type: none"> 行政命令第 588 号に従って、研修を受けた技術労働者や専門技術者の海外雇用の変化を規制する 	DOLE, POEA	<ul style="list-style-type: none"> 造船・船舶修繕の登録時業者の雇用権利、および労働者の国内雇用/海外雇用に関する政策ガイドライン/施行規則の発行 	2007	<ul style="list-style-type: none"> 予算必要なし
	<ul style="list-style-type: none"> 国内の造船技術者向けの雇用機会についての広報を実施 	DOLE	<ul style="list-style-type: none"> 就職情報誌等を通じた情報キャンペーン 	2007-2010	<ul style="list-style-type: none"> 各機関より資金調達

最終草案 (2007 年 10 月 16 日)

白

別添 2 : フィリピン造船所データ

白

NO.	NAME OF COMPANY	CATE- GORY	FACILITY										MANPOWER					FINANCIAL CAPABILITY									
			Slipway/Bldg.way		Floatdock		RepairBrth		Grvng./Lift Dck.		Lnchg.Pad		Techncl.	Skilled	Admin	Mng'r'l.	Authorized	Paid-up	Ttl.Asset								
			No.	Cap.-DWT	No.	Cap.-DWT	No.	Cap./DWT	No.	Cap.-DWT	No.	Cap.-DWT								Perm.	Contrc.	Perm.	Contrc.	P/C	P/C		
2	Subic Shipyard & Engineering, Inc.	Large	Building Facilities : 14 Training Center 15 Dispensary Building (with Security and PEZA office) 16 Waste Water Treatment 17 Main Substation (with standby Generator) 18 Water Reservoir Facilities with area : Fabrication/Structural/New Hull Shop - 32 x 100 m Carpentry Shop - 13 x 13m Machinery Shop - 20 x 34.6m Motor pool Shop - 15 x 15m Maintenance/Machinery Shop - 34.6 x 80m Engine Maintenance/Motor pool Shop - 15 x 30m Pipefitters Shop - 19 x 17.50m Paint Shop - 6 x 12m										32 Scrap Area 33 Tugboats (M/Tugs Lakes, M/Tug Tibay, M/Tug Bisig) 34 Fire Station 35 G4 Substation Building 36 Gang Way Towers														
3	Dansyco Mar.Works & Shpbl C	M	1/0	5000Dwt/0			1	5000Dwt				3	46	20	3/0	8.0m	2,000,000	5,074,078.13									
4	ELFA Shipyard Corp.	M	2/1	5500/1500Dwt							6	55	4/0	4/0	30.0m	32.0m	114,000,000.00										
5	Harpoon Marine Service, Inc.	M	2/2	6000/4000Dwt							11	51	8/0	4/0	50.0m	8,131,250											
6	Jocfer Marine Corporation	M	1/0	5000Dwt/0				Fabrication & Modlofting area- 270 Sqm.			4	8	5/0	3/0	20.0m	1,250m	33,302,107.36										
7	Josefa Slipways, Inc.	M	2/0	1000Dwt/0											10.0m	625,000	6,892,000.00										
8	Neptuna Shipyard, Inc.	M	1/0	7000Dwt/0				1/0 10,000Dwt			11	104	6/0	5/0	80.0m	24,000,000	61,328,724.00										
9	R & LT Shipyard & Realty & Development Corp.	M	2/2	2000Dwt/2000			1	1000Dwt			9	43	7/0	5/0	20.0m	14.0m											
10	Seafront Shipyard & Marine Services Corporation	M	2/0	6000Dwt/0							10	107	8/0	2/0	20.0m	1,250,000	55,106,340.88										
11	A.H. Araullo & Sons	S	3/0	1500Dwt/0							5	39	5/0	1/0	4.0m	720,000											
12	Allied Shipbuilders Corporation	S						Facility-2,125 Sqm. Beaching Type using high blocks,rollers.			2	28	3/0	1/0	1,000,000	1,000,000	5,273,897.11										
13	Alter Marine Services	S					1	1500Dwt			10	48	5/0	4/0			1,000,000.00										
14	Aqua Power Marine Constrcn.	S	0/1	0/1500Dwt							7	34	2/0	5/0			4,468,980.05										
15	Asian Slipway Corporation	S	3/1	3000/1500 Dwt							5	36	4/0	3/0	100.0m	22.5 m	53,880,805.00										
16	Cargifit Baseco Shipyard Corp.	S	1/2	2000Dwt/2400			3	6000Dwt		2	1000Dwt	10	6/0	2/0	10.0m	5.0m	67,275,637.00										
17	Cargowide Shpg. & Logistic, Inc.	S						1200 Sqm - Beaching Type			3	10	2/0	3/0	3,200,000	2,500,000	2,688,990.78										
18	Coastal Marine & Shipbuilding Corporation	S	2/1	2500Dwt/2000				Fabrication, Assembly and Mold Lofting Area - 400 Sqm.			4	51	3/0	3/0	2.0m	1.0m	2,952,594.00										

NO.	NAME OF COMPANY	CATE-GORY	FACILITY										MANPOWER				FINANCIAL CAPABILITY		
			Slipway/Bldg. way		Floatdock		Repair/Brth		Grvng./Lift Dck		Lndng. Pad		Techncl.	Skilled	Admin P/C	Mngprl. P/C	Authorized Capital	Paid-up Capital	Ttl. Asset
			No.	Cap.-DWT	No.	Cap.-DWT	No.	Cap.-DWT	No.	Cap.-DWT	No.	Cap.-DWT							
19	Chesteel Marine Industl' Corp.	S	2/2	1600Dwt/2000	1	10,000Dwt	2	2000Dwt	2	2000Dwt	8	11	61	5/0	1/0	16.0m	1,000,000	7,230,000.00	
				Fabrication/Structural Shop - 50 SqrftCarpentry Shop - 30 Sqrft Electrical Shop - 30 Sqrft, Machine/Maintenance Shop - 1000 Sqrft. Engine Maintenance Shop - 100 Sqrft, Pipe fitters Shop - 1000Sqrft.															
20	David Shipyard	S	2/0	4500Dwt/0							6	24		3/0	5/0	1.0m	500,000	3,355,739.40	
21	Dive Industries Phils. Inc.	S	1/0	1500Dwt/0							14	88		8/0	5/0	11.0m	10,600,000		
22	ELJU Marine Works & shpbldg	S			1	3,100Sqrft	Beaching Type				3	12		1/0	1/0	1.0m	500,000	10,578,750.00	
23	F & M Shipbuilder & Repair	S	1/0	1000Dwt/0	2	1000Dwt					2	4	8	3/0	1/0	11.0m		11,228,768.33	
24	Frabelle Shipyard Corp.	S			2	700/2900					4	15		4/0	8/0	15.0m	13,125,000.00	51,397,746.96	
				Fabrication/Structural Maintenance and Working Shop - 550 Sqrft.															
25	Fortune Shipbuilding & Lightgr.	S	1/0	1500Dwt/0														802,926.91	
26	Honeywell Shipyard	S	1/0	1500Dwt/0	1	1500Dwt					6	10		4/0	1/0		1.0m		
27	J.A.L. Inter Island Corporation	S			2,000Sqrft- Beaching Type yard using high Blocks						2	13		3/0	2/0	11,000,000		13,571,560.11	
				1,000 Sqrft. - Structural/Fabrication Shop															
28	Malayan Towing & Salvage Corporation	S			1 18000 tons						10	116		4/0	3/0	99.0m		1,339,754,670.00	
					1 1000 tons														
29	Mauban Shipyard	S			Assembly Area-2,000 Sqrft. BEACHING TYPE						7	7		3/0	1/0			589,592.20	
					Mold Lofting Area- 40 Sqrft.														
					Fabrication Area - 60 Sqrft.														
30	Metro Shipyard & Transport Co.	S	1/0	1200Dwt/0	1	1500Dwt					5	21		6/0	1/0		1.0m	6,637,527.00	
31	Northbay Constr. Svc. Corp.	S	1/0	2000Dwt/0							4	35		5	4	6.0m	4.5m		
32	Pier 44 Shipyard & Dev't. Corp.	S	1/0	2000Dwt/0							5	14		4/0	1/0	16,000,000	12,000,000	24,504,656.00	
					Assembly Area- 980 Sqrft.														
					Fabrication Area - 90 Sqrft.														
33	RPR Slipways & Shiplift Systems Incorporation	S	2/0	2400Dwt/0							4	148		6/0	4/0	1.0m	1,000,000	2,759,204.65	
34	RRT Marine Services, Co.	S			Repair and Maintenance area- 1,200 Sqrft.-Beaching Type						2	8		1/0	1/0	1.0m	1,000,000	5,018,108.33	
35	RWR Marine Works	S	1/0	1000Dwt/0							4	23		3/0	1/0			3,029,905.40	
36	SCC Nautical Transport Svcs, Inc	S									2	12		4/0	2/0	75.0M			
37	Sea Rudder Corporation	S			1	1500Dwt					9	63		2/0	3/0	4.0m	1.0m		
38	The Boat Shop Corp.	S	0/1	0/2000Dwt							2	20		4/0	5/0	5.0m		8,175,519.00	
39	Western Shipyard Services, Inc.	S	3/0	7500dwt/0 total							5	40		10/0	2/0	1.3m	1,300,000	4,300,000.00	
					Fabrication/Structural Shop - 120 Sqrft.. Carpentry and Electrical Shop - 50 Sqrft. Machine yard & Engine Maintenance Shop - 100 Sqrft. Paint and Pipefitters Shop- 120 Sqrft. Mobile Crane - 25 tons														
					Crawler Crane - 20 tons														
40	AMBC Marine & Ind'l. Supply	ASR			Machine Shop- 40 Sqrft.						2	4		1/0	1/0			4,955,004.11	
41	Apo Refrigeration & A/C Supply	ASR			Stock Room & Repair Shop- 240 Sqrft						2	8		8/0	2/0			7,274,625.98	
42	Bluebay Ship Repair & Svcs.	ASR									1	8		1/0	1/0			1,029,000.00	
43	BMAT Trading & Const. Supply	ASR									5	21		6/0	1/0			1,729,954.00	
44	B.P. Mata & Co., Inc.	ASR			Stock Room & Repair Shop - 500 Sqrft.						2	12		12/0	9/0	15.0m	10,500,000.00	12,900,000.00	
45	Cavite Galleon Marine Corp.	ASR									6	15		5/0	2/0			7,901,019.92	
46	Convex Constr. & Dev't. Corp.	ASR									22	66		23/0	5/0	1.0m	1.0m		

NO.	NAME OF COMPANY	CATE-GORY	FACILITY										MANPOWER					FINANCIAL CAPABILITY		
			Slipway/Bldg. way No. Cap.-DWT	Floatdock No. Cap.-DWT	RepairBrth No. Cap./DWT	Grvng./Lift Dck. No. Cap.-DWT	Lrching.Pad No. Cap.-DWT	Techncl. Perm. Contrc.	Skilled Perm. Contrc.	Admin P/C	Mng'r l. P/C	Authorized Capital	Paid-up Capital	Ttl. Asset						
47	DMTV Marine Service	ASR	1,000 Sqm - Workshop Area								1	3	2/0	1/0	1,342,530.88	1,718,030.88				
48	Don-Don Ship Supply & Marine Service	ASR	220 Sqm. - Repair/Maintenance Shop								2	6	3/0	3/0	1,208,873.20	3,627,894.28				
49	EL SALVADOR Marine Logistics, Inc.	ASR	6,000 Sqm. - Fabrication & Work Shop Area								2	28	10/0	2/0	500,000.00	4,642,495.89				
50	E.M. Balyot Trading & Marine Services	ASR									2	11	1/0	5/0		1,500,000.00				
51	Faith Marine & Ind'l. Eng'g. Work	ASR									3	6	2/0	1/0		1,268,781.82				
52	Filipinas Fabricators & Sales, Inc.	ASR			2 40 tons			1 3000tons			1	22	4/0	1/0	10.0m	19,570,668.39				
53	Gemrus, Inc.	ASR	Fabrication/Structural Shop - 200 Sqm.								3	17	5/0	4/0	5.0m	7,178,268.00				
54	Gladstone Commercial	ASR	500 Sqm. - Repair Shop and Store Room								2	3	2/0	2/0	4,105,000.00	29,976,419.42				
55	Guascor Incorporated	ASR	40 Sqm. Repair shop								2	4	6/1	2/3	250,000	7,387,652.19				
56	G.U. Engineering, Inc.	ASR									6	58	15/0	7/0	10.0m	6.0m				
57	Hope Management & Eng'g.	ASR									6	29	14/0	2/0	1.5m	4,289,256.27				
58	Integrated Energy System and Resource, Inc.	ASR	1,200 Sqm. - Fabrication & Repair Shop								6	13	15/0	2/0	9.0m	2,950,000				
59	Ivarick Trading & Eng'g. Supplies	ASR									5	13	14/0	2/0	9.0m	2,950,000				
60	Johnlyn Ship & Engine Repair	ASR	200 Sqm. - Machine Shop								1	3	1/0	1/0		10,725,917.85				
61	L & M Marine Services	ASR									5	12	7/0	5/0		975,200.00				
62	Magsaysay Marine Services, Inc.	ASR									7	12	6/0	3/0	500,000	1.0 m				
63	MCCD Eng'g. Service	ASR									4	10	6/0	3/0		15,159,331.00				
64	M.M. De Leon Trading & Const.	ASR									5	7	5/0	1/0		5,048,239.00				
65	Naval Engineering & Mar. Svc.	ASR									10	92	23/0	3/0		10,031,404.00				
66	NMSI Mobile Ship Repair, Inc.	ASR	FACILITY- Provided by the (PN) free office and workshop space, Cranes Dry-docks, Weight handling equipments, etc.								6	40	4/0	1/0	500,000.00	66,750.00				
67	Nukaza Trading and Const. Services	ASR	200 Sqm. - Workshop area								2	7	2/0	1/0	2,382,868.09	3,834,594.88				
68	One Equipment Trading & Services	ASR	800 Sqm. - Machine Shop								2	10	3/0	2/0	100,000.00	22,260,700.00				
69	P.A.B. Eng'g. Machinshop & Motor Works	ASR									5	68	5/0	4/0		1,415,163.40				
70	PMJ Enterprises	ASR									4	16	4/0	5/0		2,344,035.60				
71	Progressive Trade & Service Enterprises	ASR									4	69	7/0	1/0		6,317,293.00				
72	Propmech Corporation	ASR	3,008 Sqm - Fabrication, Workshop and Warehouse Area								2	12	6/0	8/0	50.0M	234,256,879.00				
73	Purple Trail Corporation	ASR	30 Sqm. - Repair Shop								2	6	3/0	4/0	6.0 m	6,319,651.25				
74	Quantis Philippines, Inc.	ASR	611 Sqm. - Fabrication and Machine repair workshop								4	20	10/0	1/0		5,250,000.00				
75	Raitrick Trading and Gen.Merch.	ASR	250 Sqm. - Repair and Fabrication Shop								1	9	2/0	1/0	1,000,000.00	7,287,232.00				
76	Reyes & Lim Co., Inc.	ASR	1,500 Sqm. - Fabrication/Structural Workshop								2	4	5/0	3/0	60.0m	46,000,000				
77	RMS Rowin Marine Services	ASR									6	10	4/0	1/0						
78	RS & Sons Shipbuilders, Inc.	ASR	300 Sqm - Fabrication/Structural workshop								4	18	4/0	2/0	2.5m	1,000,000				
79	Shiloh International Corp.	ASR									5	22	5/0	2/0	5.0.					
80	Scorpio Fabricators & Marine Services	ASR									4	8	3/0	2/0		1,201,974.25				
81	Soneva Marine Services	ASR	200 Sqm.- Repair Shop / Stock Room- 300 Sqm.								1	13	2/0	1/0	9.076 M	8,855,000.00				

NO.	NAME OF COMPANY	CATE-GORY	FACILITY										MANPOWER				FINANCIAL CAPABILITY		
			Slipway/Bldg way		Floatdock		Repair/Brth		Grvng./Lift Dck.		Lnchg.Pad		Techncl.	Skilled	Admin	Mng'r'l.	Authorized Capital	Paid-up Capital	Ttl.Asset
			No.	Cap.-DWT	No.	Cap.-DWT	No.	Cap./DWT	No.	Cap.-DWT	No.	Cap.-DWT							
82	Starfil Corporation	ASR										5	15	7/0	4/0				
83	Subsea Services, Inc.	ASR									4	46	6/0	4/0	10.0m	2.575m			
84	Universal Equipment Sales and Supply	ASR									1	8	7/0	1/0			1,000,000.00		
85	Versatile Industrial & Eng'g.Work	ASR	109	Sqm - Office & Stock room - (Ship repair contractor only)							1	12	2/0	2/0	500,000.00		9,348,000.00		
86	Viking Marine Services	ASR									2	12	5/0	2/0			1,000,000.00		
87	WERR Corp. International	ASR	900	Sqm. - Fabrication/Structural Shop							10	29	28/0	2/0	160.0m	95,000,000	176,630,000.00		
88	World Saver Safety System	ASR	100	Sqm. - Engine Maintenance Shop									3/0	1/0	500,000.00		1,695,518.30		
89	Zeagud Marine Corp.	ASR									3	9	6/0	2/0	2.0m	250,000	10,210,502.78		
90	F.B. SANTOS ENTERPRISES	SR	1/0	150 tons	Facilities- Tie-up with Josefa Slipways, Inc.						2	3	9/0	2/0			2,635,967.42		
		SR	1/0	200 tons															
		SR	1/0	200 tons															
91	F.M. Apolinario & Co., Inc.	SR									2	8	9/0	4/0			2,983,500.00		
92	Gendiesel Phils., Inc.	SR	3/0	300,200,500 tons/0	Fabrication/Structural work Shop - 800 Sqm.						40	30	56/4	8/0	250.0m	70,535,200	232,354,976.00		
93	Navotas Shipyard Corporation	SR	3/0		Fabrication/Structural work Shop - 1,375 Sqm.						1	2	4/0	4/0	10.0m	2,500,000.00	4,084,294.36		
94	RBL Shipyard Corporation	SR	1/0	500 grt							6	96	6/0	3/0	5.0m	2,250m	9,223,122.27		
		SR	1/0	250 grt															
		SR			Fabrication/Structural Shop - 400 Sqm														
		SR			Carpentry & Paint Shop- 600 Sqm														
		SR			Electrical & Machine Shop - 700 Sqm.														
		SR			Engine Maintenance Shop - 450 Sqm.														
95	ALS Marine Center Corp.	BB	200	Sqm. - Launching Area							4	17	15/0	6/0	20,000,000	5,000,000.00	30,169,812.30		
		BB	300	Sqm. - Molding/Lamination Area															
		BB	1,500	Sqm. - Construction Area															
96	Amurao Boat Builder	BB	250	Sqm. - Fabrication/Structural Shop							3	15	5/0	3/0			294,115.00		
		BB	100	Sqm. - Machine Shop															
		BB	100	Sqm - Engine Maintenance Shop															
		BB	50	Sqm. - Pipefitters Shop															
		BB			Land Area - Owned - 9,000 Sqm. Located at Lubang														
		BB			Land Area - Leased - 8,700 Sqm. - Located at MIA														
97	Asia Craft, Inc.	BB									3	20	3/0	2/0	1.0m	2.5m	2,289,740.99		
98	Crystal Wave Marine Corp.	BB									4	9	2/0	3/0	4.0m				
99	I.G. Trounged Boats & Allied Industrial, Inc.	BB									2	20	6/0	3/0			1,738,742.21		
100	USOPhil Enterprises	BB									6	11	8/0	1/0	3.0m	2.0m	11,385,835.79		
101	Mikuni Industries Corporation	BB	9056	Sqm.-Fabrication/Structural and Machine Shop - Leased fm BEZ							3	7	4/0	1/0	5,400,000.00	43,600,816.00			
102	Phil. Ocean Business Corp.	BB	700	Sqm.- Launching Area							4	3	2/0	1/0	4.0 m	1,000,000.00	1,615,121.00		
		BB	300	Sqm. - Office and Construction Area															

NO.	NAME OF COMPANY	CATE- GORY	FACILITY										MANPOWER				FINANCIAL CAPABILITY		
			Slipway/Bldg. way No. Cap.-DWT	Floatdock No. Cap.-DWT	Repair/Brth No. Cap./DWT	Grvng./Lift Dck. No. Cap.-DWT	Lnchg. Pad No. Cap.-DWT	Techncl. Perm. Contrc.	Skilled Perm. Contrc.	Admin P/C	Mngr'l. P/C	Authorized Capital	Paid-up Capital	Ttl. Asset					
103	Stoneworks Specialist International Corporation	BB	3,400 Sqm. - Mold Lofting, Lamination, Fabrication, Constructn. & Stock Rm. Areas.								10	26	12/0	8/0	32.0m	6.8m	151,226,194.99		
104	Amolo Shipbreaking & Salvaging	SBrkg	2,000 Sqm. - Fabrication/Structural Shop								4	5	3/0	1/0	5,980,150.03		5,967,493.75		
105	L. Acuario Marketing Corp.	SBrkg	1,000 Sqm.- Shipbreaking Yard								2	15	5/0	3/0	14.0m	6,500,000.00	11,830,536.78		

CATEGORY: SBSR- L = Large SBSR-S- Small SR- Ship Repairer SB- Ship Breaking
SBSR- M = Medium ASR-Afloat Ship Repair BB- Boat Builder

NO.	Name of company	Category	FACILITY										MANPOWER					FINANCIAL CAPABILITY				
			Slipway/Bldg. way		Repair/Birth		Grvng./Lift Dck.		Lnchg. Pad		Technol. Perm.	Skilled Perm.	Admin. P/C	Mngtr P/C	Author Cap.	Paid-up Cap.	Ttl. Asset					
			No.	Cap.	No.	DWT	No.	DWT	No.	DWT								Contr.	Contr.			
BATANGAS MRO - Region No- IV - as of June 30, 2008																						
11	Jersa Industrial & Marine Corporation	Afloat SR												14	2	42	28	4/1	7/0	5,460 M	1,490,000.00	7,957,834.00
			Shop - 160 Sqm.																			
12	EE & R Marine Industrial Services	ASR												1		17	5	2/2	1/0		1,562,220.00	1,869,013.00
			Shop - 120 Sqm.																			
13	JFM Marine & Industrial Services	ASR												3	2	7	2	5/0	4/0	627,911.62 T		2,243,657.00
			Shop - 210 Sqm.																			
14	Guimaras Engine Repair Shop	ASR												2		5		1/0	1/0	1,938,936		2,968,323.00
			Shop - 75 Sqm.																			
LEGASPI MRO - Region No- V - Update as of August 2008																						
1	Mayon docks, Inc.	SBSR-M	1/0	2000dwt/0										5	6	36	60	7/0	2/0	5.0M	5,000,000.00	10,313,955.17
			1/0	1000dwt/0																		
			0/1	0/2000 GT																		
			CRANE - 2= 35 Tons Construction & Molding/Lamination Area- 140 mtrs. Launching Area - 70 mtrs.																			
ILOILO MRO Region No - VI - Data as of December 2007																						
1	F.F. Cruz & Co., Inc.	SBSR-L		1	3000									26		33	64	18/0	6/0	12.5 M		3,236 M
			Construction Area - 360 Sqm. 1- Crane = 90 tons																			
2	A-1 Shipbuilder & Ship Repair Co.	SBSR-S	3/0	400/0dwt										16		64		16/0	6/0		500,000.00	21,000,000.00
				250/0																		
				600/0																		
			Construction Area - 180 Sqm. 3 units - Crane =																			
3	KOOLL Co., Inc.	SBSR-S												7		26		12/0	6/0	60.0 M	170,000,000.00	
			Facilities - Round Logs																			
4	Lacson Marine Services	SBSR-S	1/0	500/0										6		16	21	6/0	4/0	1.5 M	40.0 M	4,000,000.00
			Construction Area - 800 Sqm.																			
			3 Units - Crane =																			
5	LGS ShipBldg. & Ship Repair	SBSR-S												6	6	11	3	5/0	2/0	2.0 M	1.5 M	1,000,000.00
			Facilities - Round Logs																			
6	Ocean Marina Drydocking Svcs.	SBSR-S	1/0	1000Dwt/0										2	9	16	13	3/2	3/0	2.3 M	1.0 M	10,000,000.00
7	Star Building & Ship Repair	SBSR-S																				
			1 1000Dwt																			
8	Gidor Fishing corp.	SBSR-S												7		19	2	5/0	2/0	1.0 M	1.0 M	800,000.00
			Facilities - No Data																			
9	J.S. Layson & Co., Inc.	ASR												3		22	40	12/0	4/0	18.0 M	18.0 M	110,000,000.00
			Facilities - No Data																			
10	South Sea Craft	BoatBldr																				
			Facilities- No Data																			
11	Lord Fiber Glass Builder	BB																				
			Facilities - No Data																			

NO.	Name of company	Category	FACILITY										MANPOWER					FINANCIAL CAPABILITY		
			Slipway/Bldg. way No.	Flootdock No.	Repair/Brth No.	Grvng./Lift Dck. No.	Lnchg. Pad No.	DWT	DWT	DWT	Perm. Contr.	Perm. Contr.	Skilled	Admin Mngtr P/C	Author Cap.	Paid-up Cap. Cap.	Ttl. Asset			
CEBU MRO - Region No- VII- Update as of June 30, 2008																				
1	Keppel Cebu Shipyard, Inc.	SBSR-L											42	281	55/0	3/0	250m	150,000,000.00	664,100,000.00	
			DOCK :		Max. Length	Max. Beam	Capacity													
			1	Graving dock (Equipped with 2 dock arms)	210 mtrs	30 mtrs	35,000 dwt													
			Launching Ways :																	
				Max. Carriage (L x W)	Breadth of Canal	Capacity														
			1	Slipway No. 6	105 x 10.4 mtrs	19 mtrs	4,000 dwt													
			1	Slipway No. 1	79 x 7.9 mtrs	20 mtrs	2,000 dwt													
			1	Slipway No. 2	73 x 7.9 mtrs	20 mtrs	1,000 dwt													
			1	Slipway No. 3	43 x 3.09 mtrs	11 mts	600 dwt													
			1	Launching Way	100 x 8 mtrs	24 mtrs	1,000 dwt													
			Berthage		Length	Water Depth														
				Docking Quay No. 1	152 mtrs	7 mtrs														
			Craneage																	
			a.	Dockside Luffing Crane - 25 tons				i.	Overhead Traveling Crane - 5 tons											
			b.	Dockside Luffing Crane- 20 tons				j.	Overhead Traveling Crane- x 3= 3 tons											
			c.	Gantry Crane - 60 tons				k.	Crawler Crane-55 tons											
			d.	Floating Jib Crane- 20 tons				l.	Wheel Truck Crane - 50 tons											
			e.	Overhead Traveling Crane- 30 tons				m.	Wheel Truck Crane- x 3= 35 tons											
			f.	Overhead Traveling Crane - 16 tons				n.	Wheel Truck Crane- 10 tons											
			g.	Overhead Traveling Crane- 10 tons				o.	Rough Terrain Crane- 25 tons											
			h.	Overhead Traveling Crane- 7 tons																
			Building / Facilities																	
			1	Copper Slag Dryer				14	Graving Dock											
			2	KMP Compound				15	Administration Building											
			3	KMP Fabrication Shop				16	Employees Canteen											
			4	KMP Office Bldg.				17	Locker Building											
			5	Dash Building				18	Tennis Court											
			6	Procon Building				19	Basketball Court											
			7	Contractor Bunk House				20	Time/Guardhouse											
			8	Batching Area				21	Steel & Pipe Fabrication Shop											
			9	Compressor Shed				22	Machine Shop											
			10	Ship Crew's Messhall / CR				23	Foreman's Office											
			11	GD Office				24	Shipcrew's CR/Shower Room											
			12	OR's Office				25	Motorpool Shop											
			13	Stockyard				26	Supply Building											

NO.	Name of company	Category	FACILITY										MANPOWER					FINANCIAL CAPABILITY		
			Slipway/Bldg. way	Flootdock	Repair/Brth	Grvng./Lift Dok.	Lnchg. Pad	Techncl.	Skilled	Admin	Mngtr	Author	Paid-up Cap.	Ttl. Asset	Cap.	Cap.	P/C	P/C		
CEBU MRO - Region No- VII- Update as of June 30, 2008																				
2	FBMA Marine, Inc.	SBSR-L	1/1	1500/4500Dwt	1	14500Dwt		1	800	20	5	69	19	290	13/0	79m	301,000,000.00	363,000,000.00		
3	Tsuneishi Heavy Industries (Cebu),	SBSR-L	2/0	134.000/0	2	5000.8500 T				148	3	84	1	350	88/0	300m	300,000,000.00	6.5 Billion		
4	Colorado Shipyard Corp.	SBSR-M	3/0	3,300/0						12	1	33	4	9/0	4/0	15m	9,900,000.00	18,051,649.51		
5	Santiago Shipyard & Shipbldg. Corp	SBSR-M	2/0	3,000 ea./0	2	440Sq.m				6		23		7/0	4/0	5m	5,000,000.00	78,256,296.00		
6	Fortune Shipwork, Inc.	SBSR-S	1/0	1,200/0						1	4	7		6/0	3/0	25m	6,250,000.00	8,309,304.81		
7	Golden Dragon Fast Craft Bldr.,Inc.	SBSR-S								3		10		4/0	6/0	5.0 M	1,250,000.00	1,275,000.00		
8	Gusa Marine Services	SBSR-S	1/0	100/0						4		7	3	2/0	2/0	4.7m	4,700,000.00	4,700,000.00		
9	HR Slipways Marine Eng'g. Works	SBSR-S	1/0	100/0						1	2	2	8	2/0	2/0	1.2m	1,200,000.00	1,200,000.00		
10	L NOR Marine Services, Inc.	SBSR-S												5/0	4/0	1.0 M	1,000,000.00	3,641,877.00		
11	Maayo Shipbldg. & Repairs, Inc.	SBSR-S	1/0	1000/0						2	4	8	29	4/0	3/0	10m	2,500,000.00	2,500,000.00		
12	Michael Slipways, Inc.	SBSR-S	1/0	800/0						3	2		40	6/0	2/0	5m	1,300,000.00	5,200,000.00		
13	Phil. Trigon Shipyard Corp.	SBSR-S	4/0	6,500/0	3					7		76	86	8/0	4/0	30m	1,951,746.55	23,221,920.01		
14	Republic Drydock Corp.	SBSR-S	1/1	1,000/500	3	1000 grt				3	5	20	14	5/0	6/0	5m		2m	11,500,000.00	
15	Star Marine Services	SBSR-S	1/1	4,500/4000	1	5,000				1	5	5	55	6/0	4/0	12m	12,000,000.00	103,371,993.00		
16	Universal Slipways & Mar.Svcs.Inc.	SBSR-S	0/1	0/4000	4	1200 dwt				1		3		2/0	2/0	1m	1,000,000.00	482,050.23		
17	Vilono Marine Services	SBSR-S			2	2,000				1	4	14		2/0	2/0	2.7 M	2,710,938.51	3,883,353.44		
18	Phil. Rigid Construction Corp.	ShpBrg.			2	2,000				2	4	10		1/0	1/0	20m		18m	42,000,000.00	
19	ABR Eng'g. Indstl. Services	ASR								1		10					586,000.00	586,664.43		
20	Aboitiz Construction Grp., Inc.	ASR								1		29		3/0	2/0		75,000.00	1,386,106,344.00		
21	AIAS Engr. & Consistency	ASR								1		20					682,000.00	1,526,020.12		
22	ANS Marine Services	ASR										19		1/0	1/0		799,000.00	896,077.58		
23	Alta Grace Marine Services	ASR								2		6		2/0	1/0		150,000.00	150,000.00		
24	Anzen Trading & Industrial Svcs.	ASR								12		9		10/0	2/0		888,000.00	1,730,629.00		
25	AMM Tech. Marine Services	ASR								1		11		4/0	2/0		185,000.00	250,000.00		
26	AR Marine Subcontractor SVs.	ASR															111,000.00	183,362.00		
27	Appli Contracting Services, Inc.	ASR															1,120,000.00	2,491,623.16		
28	Assist Tow Marine Services	ASR	0/1	0/>1500						4		7		7/0	2/0		1,540,967.18	1,659,363.59		
29	Astir Eng'g. Works, Inc.	ASR								14		31		9/0	24/0	20.0 M	10,000,000.00	18,740,457.00		
30	Balamban Bosconian Multipurp.	ASR															2,700,000.00	13,259,593.65		
31	BM Colorofers Eng. Services	ASR															138,000.00	185,973.75		
32	Big G Steel Fabrication Services	ASR															200,000.00	361,917.91		
33	Bradex Marine Sales & Services	ASR								4				1/0	1/0		550,000.00	500,000.00		
34	Brilliant Metal Craft & Machine	ASR												5/0	1/0		3,000,000.00	3,161,248.24		
35	BSF Engr. & Supplies	ASR															1,700,000.00	3,212,725.14		
36	Cebu Inds.Mar.& Eng'g. Corp.	ASR															10,000,000.00	21,711,071.00		
37	CAF Marine Repair Services	ASR															12,000,000.00	1,218,500.00		
38	Chivalry Builders & Eng'g. Svcs.	ASR								3		23		2/0	2/0		485,433.97	3,445,182.62		
39	Danica Engineering Services	ASR								4		1		1/0	1/0		1.23 M	1,613,727.37		
40	Diadem Corporation, Inc.	ASR																		
41	DAS Marine Services	ASR								1		9					140,000.00	140,000.00		
42	DMD Engineering Services	ASR								1							555,000.00	582,795.18		
43	Don Bosco Network Multi-purpose Cooperative	ASR															4,342,602.19	21,930,100.09		

NO.	Name of company	Gate- gory	FACILITY										MANPOWER				FINANCIAL CAPABILITY		
			Slipway/Bldg way No. Cap/DWT	Floatdock No. Cap.	Repair/Brth No. DWT	Grvng./Lift Dck. No. DWT	Lnchnng. Pad No. DWT	Techncl. Perm. Contr.	Skilled Perm. Contr.	Admin Mngr'l P/C	Author Cap.	Paid-up Cap. Cap.	Ttl. Asset						
CEBU MRO - Region No- VII																			
85	Sumio Marine Services, Inc.	ASR													5.120 M	320,000.00	320,000.00		
86	Sulpicio Machine Shop, Inc.	ASR								9					1.944 M	1,944,000.00	4,840,708.74		
87	Starwell Marine Services	ASR								9						2,740,000.00	4,058,729.63		
88	Starlife Marine and Inds.Svc. Corp.	ASR								3						5,512,500.00	55,076,529.00		
89	Technos Mihara Services, Inc.	ASR								7						200,000.00	2,463,711.29		
90	T&F Marine Fabricator Company	ASR																	
91	Tsunetsu (CEBU), Inc.	ASR												20.0 M	20,000,000.00	45,119,573.00			
92	Tiger Marine Services	ASR														600,000.00	615,000.00		
93	United Rebuilders, Inc.	ASR														4,600,000.00	25,388,853.00		
94	Ultra TECH. Traders	ASR														250,000.00			
95	ULB Contracting Services, Inc.	ASR														573,000.00	1,417,755.15		
96	VAMA Marine Technologies	ASR								4						300,000.00	325,294.00		
97	VF Fabricators	ASR														2,344,622.76	2,376,605.56		
98	VDR Marine & Engg. Services	ASR								1						336,796.00	398,083.34		
99	WJC Marine Services	ASR								1						408,746.90	409,246.85		
100	Winker Engineering	ASR																	
101	XM Ship Repair Services	ASR								1						701,892.86	701,892.86		
102	T & Fmarine Fabricator Company	ShipRpr.														1,811,608.00	5,861,907.00		
103	BIZAM Engineering Works & Svcs.	SR								1						500,000.00	500,000.00		
104	BGZ Engineering Works & Services	SR								1						500,000.00	500,000.00		
105	Amber Griffin Marine, Inc.	BoatBldr								1						600,000.00	6,325,722.45		
106	Anatolio F. Teves Boat Maker	BB																	
107	Bims Marine Services & Consintcy	BB								3						17,000.00	50,000.00		
108	Cebu Fiberglass Reinforced Plastic	BB														173,821.00	1,697,231.00		
109	Composite Fiberglass Industries	BB								1						3,642,897.00	3,968,670.00		
110	Fernandez Fiberglass & Rpr.Shop	BB														280,000.00	172,649.69		
111	Junction Boat works, Inc.	BB														250,000.00	2,104,622.25		
112	Lusterio Boat Maker	BB								4						55,000.00	65,750.00		
113	San Diego Boat Maker	BB														373,000.00	398,000.00		
114	Tour Master Int'l. Ent. Corp.	BB														130,000.00	1,022,000.00		
115	Vicente Babing Pumpboat Maker	BB														1,009,960.00	1,534,960.00		
TACLOBAN MRO - Region No- VIII - Data as of December 2007																			
1	CAT Boat Builders and Repair	BB								1						15,000.00	40,000.00		
2	Pheschem Industrial Corporation	ASR								2						80,000,000.00	80,000,000.00		

NO.	Name of company	Category	FACILITY										MANPOWER					FINANCIAL CAPABILITY		
			Slipway/Bldg way		Floatdock		Repair/Brth		Grng./Lift Dck.		Lnchg.Pad		Technol.	Skilled	Admir	Mngrr	Author	Paid-up Cap.	Ttl.Asset	
			No.	Cap/DWT	No.	Cap.	No.	DWT	No.	DWT	No.	DWT								Perm.
ZAMBOANGA MRO - Reg. No. IX - Update as of June 30, 2008																				
1	DMC Shipbuilders, Inc.	SBSR-M	1/0	2000 grt/0						1	500dwt	9		168		4/0	1/0	25 M	10,000,000.00	
				Construction Area - 300 Sqm. Molding/Lamnth Area - 250 Sqm. Launching Area - 91.43 Sqm.			2- Crane													
2	ZBGA Shipyard & Eng'g. Builders	SBSR-M	1/0	2000grt/0								4		15		11/0	1/0	10.5 M	500,000.00	
				Construction Area - 300 Sqm. Launching Area - 200 Sqm.			2- Crane													
3	Varadero De Recodo, Inc.	SBSR-S	1/0 3/0	200grt/0 300grt ea/0								8		29		4/0	3/0	10.5 M	2,500,000.00	
				Construction Area - 500 Sqm. Molding/Lamnth Area - 500 Sqm Launching Area - 100 Sqm.			2- Crane													
4	Varadero De Cawit, Inc.	SBSR-S	1/0	500grt/0								4		37		3/0	2/0	10.5 M	2,000,000.00	
				Construction Area - 300 Sqm. Molding/Lamnth. Area - 200 Sqm. Launching Area - 100 Sqm.			2- Crane													
5	Zamasco General Service Enterp.	SBSR-S	1/0	200grt/0								1		31		2/0	1/0	0.5 M	500,000.00	
				Construction Area - 100 Sqm. Launching Area - 50 Sqm.			1- Crane													
6	AMR Ship Repairer	SBSR-S	1/0	150grt/0								4		25		5/0	1/0	0.5 M	1,000,000.00	
				Construction Area - 100 Sqm. Launching Area - 100 Sqm.			1- Crane													
7	Universal Shipyard, Inc.	SBSR-S	1/1	200grt/200						1		4		76		12/0	2/0	10.5 M	20.0 M	
				Construction Area - 200 Sqm. Launching Area - 100 Sqm.			3- Crane													
8	MFC Shipyard	SBSR-S										12		31		2/0	1/0	10.5 M	30.0 M	
				Construction Area - 200 Sqm. Launching Area - 100 Sqm.			2- Crane													
9	RFC Boat Repairer	SBSR-S	1/0	200grt/0								2		60		3/0	1/0	0.5 M	1.0 M	
				Construction Area - 100 Sqm. Launching Area - 50 Sqm.			1- Crane													
10	NFC VARADERO	SBSR-S										2		70		4/0	1/0	10.5 M	2.0 M	
				Construction Area - 100 Sqm. Launching Area - 100 Sqm.			2- Crane													
11	A.J. Company	BoatBldr		Construction Area - 100 Sqm.										8		1/0	1/0	10t	10,000.00	
12	Apache Builders	BB		Construction Area - 100 Sqm.										10		1/0	1/0	10t	10,000.00	
13	BASS Boatbuilding & Repair	BB		Construction Area - 100 Sqm.										10		1/0	1/0	10t	10,000.00	
14	Edmund's Boatbuilder	BB		Construction Area - 100 Sqm.										12		1/0	1/0	10t	10,000.00	
15	FCL Service Contractor	BB		Construction Area - 100 Sqm.										9		1/0	1/0	10t	10,000.00	
16	Golden Iron Construction	BB		Construction Area - 100 Sqm.										9		1/0	1/0	10t	10,000.00	
17	JBC Boatbuilder & Fabrication	BB		Construction Area - 100 Sqm.										10		1/0	1/0	10t	10,000.00	
18	LMD Boatbuilders	BB		Construction Area - 200 Sqm.																
19	Mega Boat Builder & Ship Repairer	BB		Construction Area - 300 Sqm.								3		12		4/0	2/0	10t	100,000.00	

NO.	Name of company	Gate-gory	FACILITY						MANPOWER				FINANCIAL CAPABILITY						
			Slipway/Bldg. way No. Cap/DWT No.	Floaddock No. Cap.	Repair/Brth No. DWT	Grvng./Lift Dck. No. DWT	Lnchg. Pad No. DWT	Techncl. Perm. Contr.	Skilled Perm. Contr.	Admin P/C	Mngr P/C	Author Cap.	Paid-up Cap. Cap.	Ttl. Asset					
ZAMBOANGA MRO - Reg. No. IX																			
Data update - June 30, 2008																			
20	Mycon Shipbuilding, Repair & Eng.	BB										13	5	1/0	1/0	10t	10,000.00		
21	Quick Builders	BB										8		1/0	1/0	10t	10,000.00		
22	RASJ Boatbuilding & Repair	BB										9	7	1/0	1/0	10t	10,000.00		
23	Speed Boats & Fiberglass Zone	BB										13	4	1/0	1/0	10t	100,000.00		
24	Virmon Boatbuilder	BB										15	5	1/0	1/0	10t	10,000.00		
25	ZDL Shipbuilder & Shiprepair	BB										12	2	1/0	1/0	10t	10,000.00		
CAGAYAN DE ORO MRO - Region No. X & XIII (Caraga) - Update as of July 16, 2008																			
1	Phil. Iron Construction and Marine Works, Inc. (PICMWI)	SBSR-L			6	9000 0 1	10 7500 dwt				12	10	20	250	14/8	6/0	10.0m	10.5 M	165,917,009.00
			Construction Area - 12 Hectares Molding/Lamination Area - 800 Sqm. Launching Area - 2,240 Sqm. Crane- 4= 160 Tons																
2	ADFIL Corporation	ASR															100t	3,830,901.67	2,442,951.83
3	Agusan Plywood Corporation	ASR											5	7/0	10/0	100t	150,000.00	150,000.00	
4	CJE Ship Repair Services	ASR											5		1/0	100t	240,000.00	240,000.00	
5	EMCO Plywood Corporation	ASR									8	1	51	35/0	4/0	100t	200,000.00	200,000.00	
6	Gerona Enterprises	ASR									2	26		11/0	5/0	100t	28,510,434.72	28,510,434.72	
7	IFM General Services	SR												1/0	1/0	100t	100,000.00	100,000.00	
8	KAZZ Manpower Resources	SR											32	3/0	1/0	100t	300,000.00	210,000.00	
9	Pabay's Labor Contractor	SR											24	4/0	2/0	100t	50,000.00	1,554,286.51	
10	PICMW Employee's MPC	SR									1	21	16	2/0	3/0	100t	1,000,000.00	62,500.00	
11	SV Engineering Services	SR													1/0	100t	100,000.00	100,000.00	
12	4M Engineering Services	ASR										5	39	2/0	1/0	100t	1,161,277.70	93,098.51	
13	JL Ship Repairer	SR									4	14		1/0	1/0	100t	150,000.00	150,000.00	
14	EQU-PARCO Construction Co.	ASR									5	44		1/0	1/0	1.5 M	500,000.00	121,931,588.20	
15	Edrolin, Marvin M.	BB											3		1/0	15t	50,000.00	50,000.00	
16	Geratido's Boatbuilder & Rep.Svcs	BB									2	2			1/0	15t	40,000.00	40,000.00	
17	Gonifias Boatbuilder	BB									1	2			1/0	15t	50,000.00	50,000.00	
18	JL Boatbuilders, Inc.	BB											2		1/0	15t	40,000.00	40,000.00	
19	LJ Boatbuilders	BB											3		1/0	15t	100,000.00	100,000.00	
20	Loloy Boat Body Builder	BB									1	3		1/0	1/0	15t	20,000.00	20,000.00	
21	Quiban Boatbuilder	BB									2	3		1/0	1/0	15t	50,000.00	40,000.00	
22	RMV-RAV Boat Builder and Drydocking Services	BB									3	2		2/0	1/0	15t	5,000,000.00	5,000,000.00	
23	Roy Boatbuilder	BB											3		1/0	15t	30,000.00	30,000.00	
24	Tuazon Bunker's Builder	BB									1	3		1/0	1/0	15t	15,000.00	15,000.00	
25	Ronemar Boatbuilder	BB											3		1/0	20t	20,000.00	20,000.00	

NO.	Name of company	Category	FACILITY										MANPOWER					FINANCIAL CAPABILITY																
			Slipway/Bldg. way No.	Flootdock Cap.	Repair/Brth No.	DWT	Grng./Lift Dck. No.	DWT	Lnchg. Pad No.	DWT	Techncl. Perm.	Skilled Contr.	Admin. P/C	Mngtr. P/C	Author Cap.	Paid-up Cap. Cap.	Ttl. Asset																	
DAVAO MRO - Region No- XI																																		
37	Subaan, Nicolas M.	BB	Construction and Launching Area - 400 Sqm./ BoatBldgway-1= 15 GT														1	1	1/0	15,000.00														
38	Subaan Jr., Victoriano I.	BB	Construction and Launching Area - 300 Sqm.														1	1	1/0	15,000.00														
39	Trimocha, Eulogio A.	BB	Construction and Launching Area - 300 Sqm.														1	1	1/0	60,000.00														
40	Wahing, Recollito O., Jr.	BB	Construction and BoatBldg. Way - 800 Sqm.														1	3	1/0	20,000.00														
COTABATO MRO - GEN.SANTOS Ext. Office - Region No- XII - Update as of June 30, 2008																																		
1	Gensan Shipyard & Machine Works	SBSR-M	1	1500 tons													1	50 tons	5	3	30	57	15/0	2/0	100 M	40.625 M	146.154 M							
			1	2500 tons																														
			Construction & Launching Area - 3,300 Sqm.																															
			3- Cranes = 2/15/10 tons																															
2	Amadeo Fishing Corporation	SBSR-S	1/2	200 grt/120 ea.	2	500/50	1/0	120/0 grt										1	120 gt	8		28	55	11/0	4/0	189.55	11.8 M	15,330,000.00						
					2	100/100																												
			Construction & Launching Area - 2,400 Sqm.																															
			1- Crane= 20 tons																															
3	CUBNAME Marine Services	SBSR-S	0/1	0/250 grt														1	250 grt	8		30	80	5/0	1/0	3.09m	3,090,000.00	3,090,000.00						
			Construction & Launching Area - 3,600 Sqm.																															
4	Damalerio Fishing Enterprises	SBSR-S	1/1	250/50 grt	5	900/500 grt												2	150ea	4	1	40		13/0	9/0	18.0 M	17,150,000.00	20,505,000.00						
						130/130/1600 grt.																												
			Construction & Launching Area - 3,500 Sqm.																															
			2- Crane= 50/25 tons																															
5	Drewzel Shipyard & Services, Inc.	SBSR-S	1/1	1000/50	2	300/300												1	30 dwt	2	5	31	63	9/0	4/0	12.5 M	10,627,000.00	30,040,000.00						
			Construction & Launching Area - 3,000 Sqm.																															
			2- Crane= 32/25 tons																															
6	EBS Drydocking Facility	SBSR-S	1/1	120/40	3	100/150												1	30 dwt	2	2	1	6	2/0	3/0	2.59m	2,590,000.00	2,590,000.00						
						100 dwt																												
			Construction & Launching Area - 1,000 Sqm.																															
			1- Crane= 20 tons																															
7	Glavery Fishing Incorporated	SBSR-S	1/1	300/30	1	1000												3		3		12	56	8/0	2/0	5.0 M	3,050,000.00	11,500,000.00						
					1	500 Dwt																												
			Construction Area - 1,000 Sqm.																															
			1- Crane= 10 tons																															
8	Kingford Marine Works Industries	SBSR-S	1/0	350/0	2	250/250												4		4	3	8	10	2/0	2/0	11.06 M	11,066,000.00	11,066,000.00						
			Construction & Launching Area - 2,000 Sqm																															
			Molding/Lamination Area - 2,500 Sqm																															
			1- Crane= 5 tons																															
9	Mommy Gina Tuna Resources	SBSR-S	2/0	100 & 200	2	100/100												1	100 Dwt	4	1	54	41	15/0	2/0	238.217 M	238,217 M	238,217 M						
			0/2	100 & 200	2	100/200																												
					2	100/300																												
			Construction & Launching Area - 1,500 Sqm.																															
			Molding/Lamination Area - 1,500 Sqm.																															
			1- Crane= 20 tons																															



この報告書は競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて作成しました。

フィリピン造船業界の課題と造船振興政策に関する調査

2009年（平成21年）3月発行

発行 社団法人 日本中小型造船工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16 海洋船舶ビル
TEL 03-3502-2063 FAX 03-3503-1479

財団法人 日本船舶技術研究協会

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-7-2 虎ノ門高木ビル
TEL 03-3502-2133 FAX 03-3504-2350

本書の無断転載、複写、複製を禁じます。

フィリピン造船業界の課題と造船振興政策に関する調査

二〇〇九年三月